

鉄鋼需給の動き

2024 年 11 月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は、今後の持ち直しが期待されるものの、力強さを欠いている。需要面では、8月の機械受注は業務用機械、電気機械、情報通信機械や自動車・同付属品等の減少により2ヵ月連続で前月比減少となった。他方、9月の総消費動向指数（実質値）は前年比0.4%増となり3ヵ月連続で上昇したほか、9月の輸出数量指数は、前月との比較では米国等の主要向け先で上昇したことから2ヵ月ぶりに上昇した。供給面では、9月の鉱工業生産指数は、生産用機械等は低下も、自動車等の上昇により前月比で2ヵ月ぶりの上昇となった。

海外経済をみると、米国では、景気は緩やかな減速傾向にあるものの、堅調な個人消費に支えられ底堅さを維持している。中国では、政府支援もあり製造業の設備投資など一部指標には明るさもみられるが、不動産不況等を背景に個人消費は抑制的。内需が振るわず外需が下支えするなかで、中国に対する貿易保護措置が頻発するなど、輸出環境の悪化がみられている。欧州では、7-9月期ユーロ圏GDP成長率が市場予測を上回ったものの、足元では内外需とも低迷が続き、景況感（ユーロ圏総合PMI、速報値）が2ヵ月連続で50を下回るなど、景気回復は足踏み状況にある。

国内鉄鋼需要産業をみると、9月の建設業は、新設住宅着工戸数が5ヵ月連続、非住宅着工床面積が3ヵ月連続で前年を下回った。また、製造業では、9月の四輪車生産（速報、乗用車・トラック計）が2ヵ月連続で減少したほか、鉱工業生産指数（9月、速報）のうち、生産用機械が2ヵ月連続、汎用・業務用機械が9ヵ月連続の低下となった。このように需要産業が精彩を欠くなか、9月の国内鉄鋼統計を見ると、粗鋼生産（速報、662万トン、前年同月比5.8%減）、普通鋼鋼材生産（461万トン、同4.6%減）ともに7ヵ月連続で減少した。普通鋼鋼材出荷は、輸出向け（196万トン、同0.3%増、2ヵ月ぶり）は増加も、国内向け（291万トン、同9.5%減、5ヵ月連続）が減少したことから、全体（486万トン、同5.8%減）では12ヵ月連続の前年割れとなった。

海外鉄鋼市場をみると、世界粗鋼生産（9月）は前年同月比4.7%減の1億4,360万トンと3ヵ月連続の減少となった。うち中国は同6.1%減の7,707万トンと3ヵ月連続で減少したものの、日産量（257万トン）は前月比で増加に転じ、また鋼材輸出は前年同月比25.9%増の1,015万トンと、2016年7月（1,030万トン）以来の1,000万トン超えと増勢を強めた。1-9月累計では前年同期比21.2%増の8,071万トン、同期としては過去3番目の高水準となっている。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、金融市場の変動、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東地域をめぐる情勢、中国経済低迷の長期化とそれに伴う鉄鋼需給バランスの悪化、物価の高止まり、人手不足による生産活動への影響などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き、内外経済及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・7-9月期の実質GDP成長率（一次速報）は、季調済前期比0.2%増（年率換算0.9%増）と2期連続のプラス。
- ・9月の完全失業率は前月から0.1ポイント低下の2.4%。同月の消費者物価上昇率は前月から0.4ポイント低下の2.4%。
- ・9月の小売業販売額は前年同月比0.5%増と31ヵ月連続の増加、同月の総消費動向指数は前年同月比0.4%増と3ヵ月連続の上昇。
- ・10月の乗用車販売は前年同月比0.8%減の31.3万台と2ヵ月ぶりの減少。普通車、小型車が増加、軽が減少。
- ・9月の機械受注は前月比0.7%減と3ヵ月連続の減少。基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」を維持。
- ・9月の鉱工業生産は2ヵ月ぶりの前月比上昇。基調判断は「一進一退」を維持。先行きは、10月は上昇、11月は低下を予測。

2.鉄鋼需要産業動向

（建設部門）

- ・土木：9月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比1.8%増と2ヵ月ぶりの増加。民間土木は同4.4%増と2ヵ月連続の増加。
- ・建築：9月の新設住宅着工戸数は前年同月比0.6%減と5ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同3.8%減と3ヵ月連続の減少。

（製造業部門）

- ・自動車：9月の四輪車生産は前年同月比9.4%減の76.2万台と2ヵ月連続の減少。
- ・産業機械：9月の生産用機械は前年同月比7.6%減と2ヵ月連続の低下、汎用・業務用機械は同7.0%減と9ヵ月連続の低下。
- ・造船：9月の輸出船契約量は前年同月比61.3%減の33.8万G/Tと8ヵ月ぶりの減少。同月末の手持工事量は3,000万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼：9月の内需は前年同月比10.9%減の265万トンと4ヵ月連続の減少。
- ・特殊鋼：9月の内需は前年同月比6.2%減の82万トンと8ヵ月連続の減少。

4.鉄鋼需給（生産・出荷・在庫）

- ・粗鋼生産：10月の粗鋼生産（速報）は前年同月比7.8%減の693万トンと8ヵ月連続の減少。
- ・鋼材生産：10月の普通鋼鋼材生産（速報）は前年同月比7.8%減の463万トンと8ヵ月連続の減少。9月の特殊鋼鋼材生産は同8.9%減の123万トンと8ヵ月連続の減少。
- ・出荷：9月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比9.4%減の291万トンと5ヵ月連続の減少。8月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同12.6%減の70万トンと8ヵ月連続の減少。
- ・在庫：9月末の普通鋼鋼材国内在庫は531万トンと前月末比2ヵ月連続の増加。8月末の特殊鋼鋼材在庫は177万トンと同3ヵ月ぶりの増加。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・9月の鋼材輸入は、前年同月比8.7%増の48万トンと2ヵ月ぶりの増加。

6.鉄鋼輸出

- ・10月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比6.5%減の252万トンと3ヵ月連続の減少。

7.海外市場

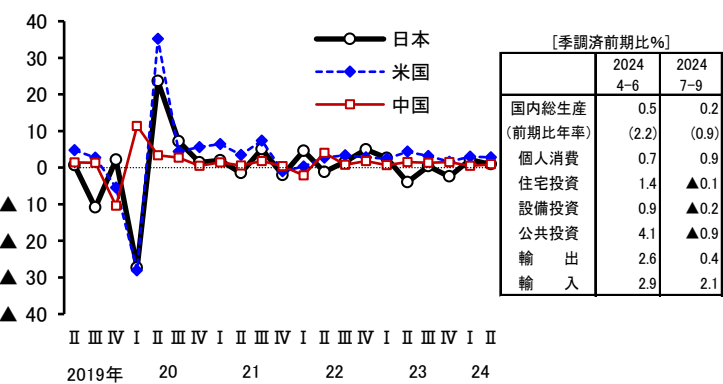
- ・世界粗鋼生産：9月（worldsteel、71カ国）の粗鋼生産は前年同月比4.7%減の1億4,360万トンと3ヵ月連続の減少。
- ・中国：10月（国家統計局）の粗鋼生産は、前年同月比2.9%増の8,188万トン（日産量264.1万トン）と4ヵ月ぶりの前年同月比増加。1-10月累計では前年同期比3.0%減の8億5,073万トンと8ヵ月連続の前年同月比減少。同月の鋼材輸出は前年同月比40.8%増の1,118.2万トンと16ヵ月連続の前年同月比増加、2ヵ月連続の1,000万トン超え、過去最高の2015年9月（1,124.8万トン）に次ぐ高水準。1-10月累計では前年同期比23.3%増の9,189.3万トン。

1. 経済動向 ―9月の鉱工業生産は2ヵ月ぶりの上昇、先行きは10月は上昇、11月は低下の見込み―

・7～9月期の実質GDP成長率（一次速報）は、季調済前期比0.2%増と2期連続の増加となった（年率換算0.9%増）。外需寄与度は▲0.4pt、内需寄与度は+0.6ptであった。支出項目別には、個人消費（0.9%増）が2期連続の増加、住宅投資（0.1%減）が2期ぶり、設備投資（0.2%減）が2期ぶり、公共投資（0.9%減）が2期ぶりの減少となった。輸出入動向では、輸出（0.4%増）、輸入（2.1%増）がともに2期連続の増加となった。

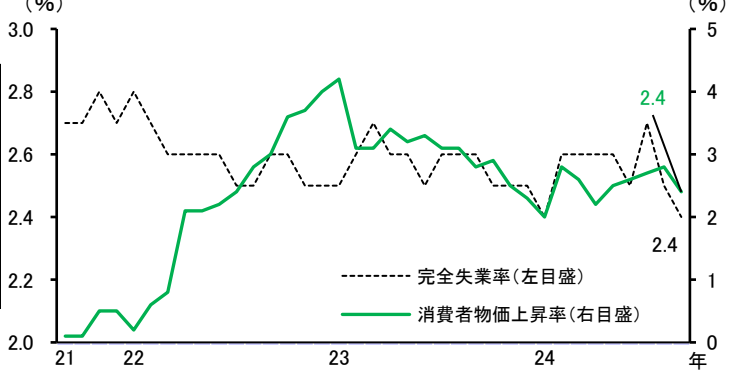
・9月の完全失業率は前月から0.1ポイント低下の2.4%。
・9月の消費者物価指数上昇率（生鮮食品を除く総合、前年同月比）は前月から0.4ポイント低下の+2.4%。

〔図1〕日本、米国、中国の実質GDP成長率（%）



（出所）内閣府、米国商務省、中国国家统计局

〔図2〕失業率と 消費者物価上昇率

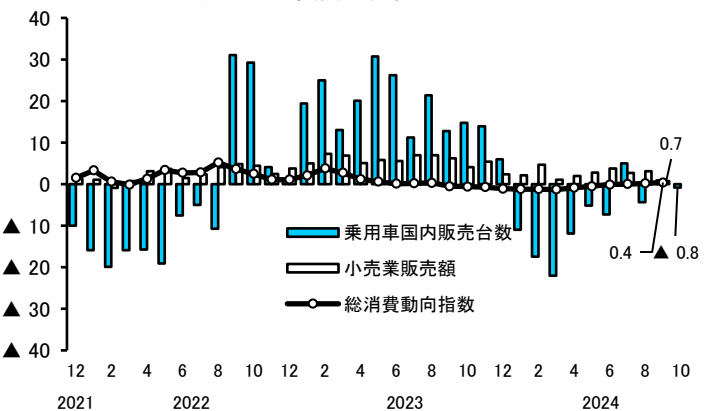


（出所）総務省

・10月の乗用車販売（除・輸入車）は前年同月比0.8%減と2ヵ月ぶりの減少。軽四輪が2ヵ月ぶりのマイナスとなった。
・9月の小売業販売額は前年同月比0.5%増と31ヵ月連続の増加。
・9月の総消費動向指数（2020年基準、実質）は前年同月比0.4%増と3ヵ月連続のプラスとなった。

・9月の機械受注（船舶・電力を除く民需）は、全体では前月比（季調済。以下、同）0.7%減の8,520億円と3ヵ月連続の減少。内訳は、製造業（0.01%減）は化学工業、電気機械等の減少により4ヵ月連続の減少、非製造業（1.5%増）は情報通信業等の増加により2ヵ月ぶりの増加となった。基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」を維持した。

〔図3〕個人消費関連指標（前年同月比増減率・%）



（出所）自販連、経済産業省、総務省

〔図4〕機械受注（船舶・電力を除く民需・季調済）

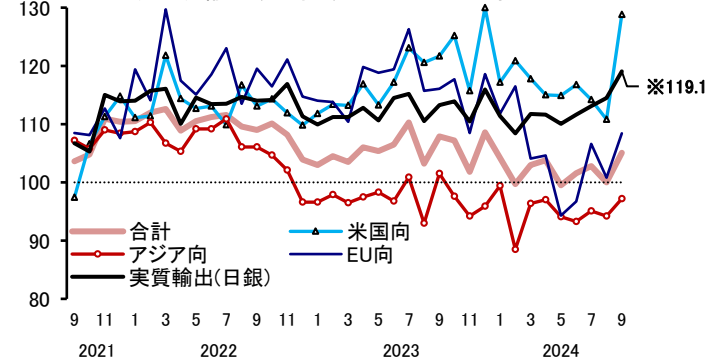


（出所）内閣府

・9月の輸出数量指数（季調済）は前月比5.1%増と2ヵ月ぶりの上昇となった。向け先別では、米国向けが3ヵ月ぶり、EU向けが2ヵ月ぶり、アジア向けが2ヵ月ぶりの上昇となった。
・9月の実質輸出（日銀）は前月比4.0%増と4ヵ月連続で上昇した。

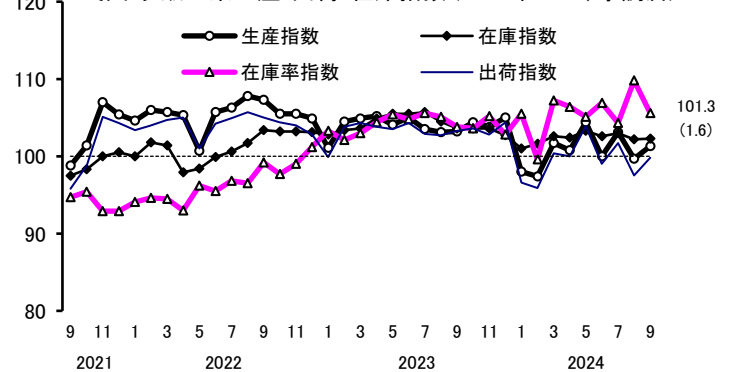
・9月の鉱工業生産は、前月比（季調済。以下、同）1.6%増の101.3と2ヵ月ぶりに上昇した。業種別にみると、自動車工業、無機・有機化学工業等が上昇した。製造工業生産予測調査は、10月は8.3%増、11月は3.7%減と予測。基調判断は「一進一退」を維持。出荷（99.8）は同2.4%増、在庫（102.3）は同0.1%増、在庫率（105.6）は3.8%ポイント減と低下した。

〔図5〕輸出数量指数（2020年=100、季調済）



（出所）財務省「貿易統計」を元に日本鉄鋼連盟にて季節調整。
（※）は日銀「実質輸出指数」（2020年=100、季調済）。

〔図6〕鉱工業生産・出荷・在庫指数（2020年=100、季調済）



（出所）経済産業省

2. 鉄鋼需要産業動向

－10月の四輪車販売は2ヵ月ぶりのマイナス－

<土木>

○10月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比8.0%増の6,562億円と3ヵ月ぶりの増加

- ・発注者別には、国の機関（3.7%減・3ヵ月連続）が減少したものの、地方の機関（10.5%増・3ヵ月ぶり）が増加したことから、全体では前年同月比8.0%増の6,562億円と3ヵ月ぶりの増加となった。

○9月の公共土木工事受注額は前年同月比1.8%増の1兆4,479億円、2ヵ月ぶりの増加

- ・上工業水道（57.1%減）が減少したものの、道路（21.7%増）、治山治水（3.8%増）等が増加し全体では前年同月比1.8%増の1兆4,479億円と2ヵ月ぶりの増加となった。

○9月の民間土木工事受注額は前年同月比4.4%増の3,917億円、2ヵ月連続の増加

- ・電気ガス（0.9%減）、製造・鉱業・建設（4.8%減）が減少したものの、運輸通信（7.5%増）、不動産（36.8%増）等が増加し、全体では前年同月比4.4%増の3,917億円と2ヵ月連続の増加となった。

<建築>

○9月の新設住宅着工戸数は前年同月比0.6%減の6.9万戸と5ヵ月連続の減少

- ・利用関係別には、貸家（4.4%増・2ヵ月ぶり）が増加したものの、持家（0.9%減・34ヵ月連続）、分譲（7.0%減・5ヵ月連続）がともに減少したことから、全体では0.6%減の6.9万戸と5ヵ月連続の減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は80.0万戸となった。

○9月の非住宅着工床面積は前年同月比3.8%減の348万㎡と3ヵ月連続の減少

- ・用途別では、商業・サービス（0.2%増）、公益事業（55.1%増）が増加したものの、鉱工業（25.7%減）、公務文教（11.9%減）が減少したことから、全体では3.8%減の348万㎡と3ヵ月連続の減少となった。
- ・使途別では、事務所（2.0%増）、倉庫（46.0%増）が増加したものの、店舗（20.9%減）、工場（23.5%減）が減少した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は4,216万㎡となった。

〔表1〕建設関連統計指標

（単位：億円、千戸、%）

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算 着工戸数
		国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マンション)	
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	－
2023年度	86,326	29,977	56,349	144,655	43,710	800.2	219.6	340.4	235.0	100.2	－
2023年 7- 9月	22,520	5,517	17,003	37,261	10,032	207.5	61.2	89.3	55.8	21.8	796.5
10-12月	14,427	2,574	11,853	30,521	9,558	202.6	52.9	85.8	62.5	27.6	799.1
2024年 1- 3月	20,348	8,671	11,677	47,574	13,003	182.3	47.7	77.8	55.6	25.5	785.6
4- 6月	31,040	14,469	16,570	30,974	12,150	208.8	54.3	90.0	62.5	31.4	819.3
7- 9月	22,654	5,381	17,273	38,966	9,696	203.4	58.8	91.5	51.3	21.2	783.2
2024年 8月	6,343	1,261	5,083	11,122	2,866	66.8	19.6	28.9	17.2	7.5	776.6
9月	8,183	2,053	6,129	14,479	3,917	68.5	19.4	31.0	17.9	7.7	800.2
10月	6,562	1,025	5,537	－	－	－	－	－	－	－	－
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	－
2023年度	3.2	2.7	3.4	▲2.3	▲7.5	▲7.0	▲11.5	▲2.0	▲9.4	▲12.0	－
2023年 7- 9月	▲1.9	▲5.4	▲0.6	▲7.5	▲5.8	▲7.7	▲8.6	▲2.6	▲13.5	▲19.6	▲2.2
10-12月	4.2	▲2.9	5.9	▲2.9	▲11.0	▲6.3	▲16.2	▲3.3	▲0.3	8.1	0.3
2024年 1- 3月	7.7	7.0	8.3	1.0	▲12.5	▲9.6	▲9.0	▲4.3	▲16.9	▲23.1	▲1.7
4- 6月	6.9	9.5	4.8	5.7	9.3	0.5	▲6.0	2.9	2.2	24.0	4.3
7- 9月	0.6	▲2.5	1.6	4.6	▲3.4	▲2.0	▲3.9	2.5	▲8.1	▲2.8	▲4.4
2024年 8月	▲4.9	▲3.5	▲5.3	▲8.3	6.6	▲5.1	▲6.6	▲1.4	▲12.0	▲5.0	0.5
9月	▲4.6	▲13.3	▲1.3	1.8	4.4	▲0.6	▲0.9	4.4	▲7.0	▲6.1	3.0
10月	8.0	▲3.7	10.5	－	－	－	－	－	－	－	－
4月からの累計	60,255	20,875	39,381	69,940	21,845	412.2	113.1	181.5	113.8	52.7	－
前年同期	57,628	19,797	37,832	66,560	21,149	415.3	119.0	176.8	117.0	47.2	－
増減量	2,627	1,078	1,549	3,381	696	▲3.1	▲5.9	4.8	▲3.2	5.5	－
前年同期比	4.6	5.4	4.1	5.1	3.3	▲0.8	▲4.9	2.7	▲2.7	11.6	－

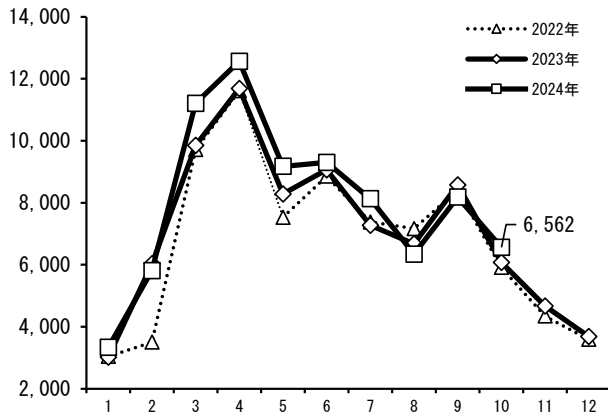
（出所）保証事業会社協会、国土交通省

（注）1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

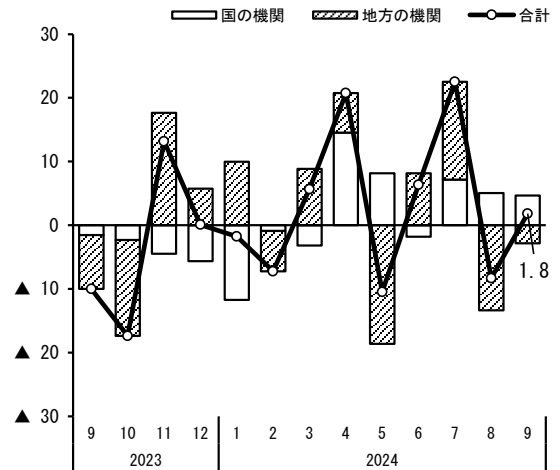
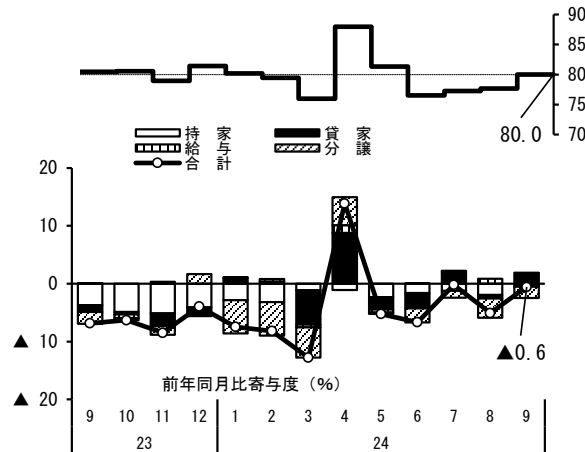
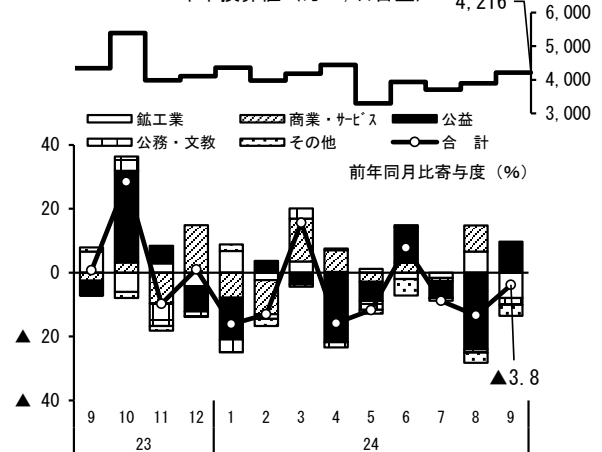
2. 年率換算着工戸数は前月（期）比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

〔図 7〕 公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



〔図 8〕 公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）

〔図 9〕 新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）〔図 10〕 非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）

〔表 1〕 建設関連統計指標（続）

（単位：万㎡、%）

	建築着工床面積計	居住用	非居住用	用途別				使 途 別				鋼構造建築着工床面積		
												SRC	RC	S
				(鉱工業)	(商業・サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)			
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2023年度	10,831	6,552	4,279	959	1,397	1,049	668	621	363	728	1,184	153	2,260	3,834
2023年 7～9月	2,777	1,702	1,075	238	329	263	183	125	96	174	293	48	555	924
10～12月	2,808	1,687	1,122	227	392	285	174	173	101	176	328	32	629	1,000
2024年 1～3月	2,399	1,437	962	255	328	199	138	194	75	181	221	20	459	932
4～6月	2,727	1,695	1,031	239	380	213	158	138	114	190	238	39	583	970
7～9月	2,592	1,610	983	227	355	195	171	137	97	193	236	28	458	923
2024年 7月	873	543	329	65	130	56	64	74	34	53	68	5	150	322
8月	830	524	305	79	127	40	50	24	35	79	56	20	148	273
9月	890	542	348	83	98	98	58	38	28	61	113	3	160	328
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2023年度	▲8.8	▲8.8	▲8.8	▲12.7	▲5.7	▲6.7	▲9.4	3.4	▲15.0	▲16.8	▲7.6	▲35.5	▲8.1	▲8.7
2023年 7～9月	▲11.5	▲9.6	▲14.3	▲11.1	▲12.7	▲19.7	▲12.2	▲27.3	▲9.5	▲13.6	▲18.7	7.7	▲13.7	▲16.6
10～12月	▲1.2	▲6.0	6.8	▲10.1	7.7	50.8	▲7.5	28.0	▲0.5	▲12.3	51.0	▲37.8	23.6	▲1.0
2024年 1～3月	▲10.8	▲13.5	▲6.4	12.4	▲8.6	▲19.5	▲8.1	34.9	▲27.9	1.1	▲22.6	▲70.8	▲28.8	2.5
4～6月	▲4.2	▲1.8	▲8.0	▲0.5	9.4	▲29.4	▲8.6	6.8	26.0	▲3.3	▲30.2	▲27.1	▲5.5	▲0.9
7～9月	▲6.7	▲5.4	▲8.6	▲4.6	7.7	▲26.0	▲6.4	9.7	1.3	10.8	▲19.6	▲41.1	▲17.5	▲0.2
2024年 7月	▲5.8	▲3.8	▲8.8	▲8.2	▲2.7	▲25.1	▲0.6	28.7	18.7	▲2.6	▲17.9	▲77.4	▲16.6	2.5
8月	▲10.9	▲9.4	▲13.4	42.0	29.5	▲68.0	▲6.7	▲17.6	10.1	97.7	▲58.5	27.6	▲26.7	▲5.9
9月	▲3.2	▲2.9	▲3.8	▲25.7	0.2	55.1	▲11.9	2.0	▲20.9	▲23.5	46.0	▲70.9	▲7.8	2.4
4月からの累計	5,319	3,305	2,014	466	735	408	330	275	211	383	474	67	1,041	1,892
前年同期	5,624	3,428	2,196	478	676	565	356	254	186	370	635	101	1,172	1,902
増 減 量	▲305	▲123	▲182	▲12	58	▲157	▲27	21	25	12	▲160	▲34	▲131	▲10
前年同期比	▲5.4	▲3.6	▲8.3	▲2.5	8.6	▲27.8	▲7.5	8.3	13.3	3.3	▲25.3	▲33.8	▲11.2	▲0.5

＜自動車＞－9月の四輪車生産は2ヵ月連続のマイナス

○10月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比0.2%減の37.5万台と2ヵ月ぶりのマイナス

- ・ 10月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(0.8%減)は、普通車、小型車が2ヵ月連続で増加したものの、軽四輪が減少2ヵ月ぶりのマイナスとなったことから、全体でも2ヵ月ぶりの減少となった。トラック(2.9%増)は、小型車が3ヵ月連続のマイナスとなったものの、普通車、軽四輪が増加し、全体でも3ヵ月ぶりの増加となった。バス(9.0%増)は、24ヵ月連続のプラス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比0.2%減の37.5万台と2ヵ月ぶりのマイナスとなった。

○9月の完成車輸出は前年同月比10.1%減の37.0万台と5ヵ月連続のマイナス

- ・ 9月の完成車輸出は、中近東向け(15.1%増)が増加したものの、アジア向け(12.0%減)、欧州向け(10.4%減)、北米向け(16.3%減)、オセアニア向け(5.8%減)が減少したことから、全体では前年同月比10.1%減の37.0万台と5ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 10月の米国新車販売は、前年同月比10.4%増の133.3万台と2ヵ月ぶりのプラス。季調済・年率換算では1,604万台となった。また、同月の中国新車販売(中国汽車工業協会発表)は、前年同月比7.0%増の305万台と5ヵ月ぶりのプラスとなった。

○9月の四輪車生産は前年同月比9.4%減の76.2万台と2ヵ月連続のマイナス

- ・ 9月の四輪車生産は、乗用車(10.1%減)は、普通車が4ヵ月連続、小型車と軽が2ヵ月連続マイナスとなり、全体では2ヵ月連続で減少した。トラック(4.5%減)は、普通車が2ヵ月ぶりに増加したものの、小型車、軽がいずれも2ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体では2ヵ月連続で減少した。四輪車計では前年同月比9.4%減の76.2万台と2ヵ月連続のマイナスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

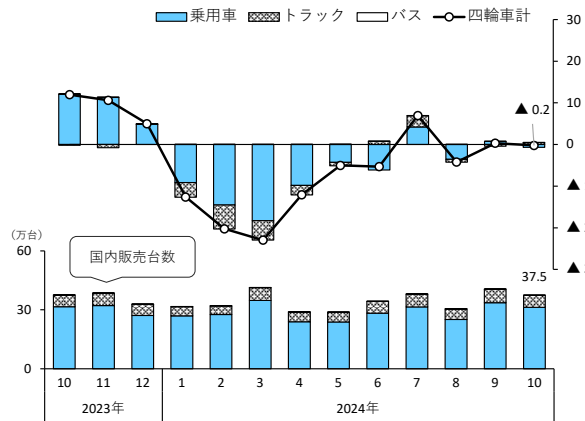
(単位：千台、%)

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販売計
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2023年 7- 9月	1,079	896	362	212	322	181	36	50	95	2	78	1,157
10-12月	1,091	908	358	210	340	181	30	50	101	2	80	1,172
2024年 1- 3月	1,051	893	407	183	303	155	33	41	81	3	80	1,131
4- 6月	922	761	325	173	263	159	31	44	83	2	74	996
7- 9月	1,091	902	363	213	326	187	36	50	100	3	81	1,172
2024年 8月	306	251	99	61	91	54	11	15	29	1	23	328
9月	406	336	131	79	126	69	14	16	39	1	33	439
10月	375	313	130	77	106	61	11	14	37	1	27	402
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2023年 7- 9月	12.3	14.6	26.8	5.2	9.4	1.5	28.1	8.8	▲8.9	64.9	6.1	11.8
10-12月	9.3	11.7	34.5	▲3.9	3.6	▲1.7	14.1	4.9	▲8.4	66.9	▲2.4	8.4
2024年 1- 3月	▲19.2	▲17.5	▲5.9	▲31.2	▲21.2	▲28.2	▲6.3	▲33.6	▲31.9	19.8	▲0.1	▲18.1
4- 6月	▲7.5	▲8.2	▲3.6	▲12.2	▲10.7	▲4.5	5.9	▲7.6	▲6.2	52.9	2.1	▲6.8
7- 9月	1.2	0.7	0.3	0.9	1.2	3.0	1.8	0.2	5.0	26.8	3.7	1.3
2024年 8月	▲4.2	▲4.3	▲3.4	▲2.7	▲6.3	▲4.0	▲12.2	▲1.6	▲1.8	23.9	7.2	▲3.5
9月	0.3	0.9	1.5	1.0	0.2	▲2.5	8.4	▲9.1	▲2.9	12.0	▲0.0	0.3
10月	▲0.2	▲0.8	4.9	6.8	▲11.4	2.9	20.0	▲14.3	6.5	9.0	25.1	1.2
4月からの累計	2,389	1,976	818	463	695	407	79	108	220	6	183	2,571
前年同期	2,451	2,040	823	480	736	407	74	114	219	4	173	2,624
増 減 量	▲62	▲64	▲5	▲17	▲41	▲*	4	▲6	2	1	10	▲53
前年同期比	▲2.5	▲3.1	▲0.6	▲3.6	▲5.6	0.0	5.6	▲5.2	0.7	32.8	5.7	▲2.0

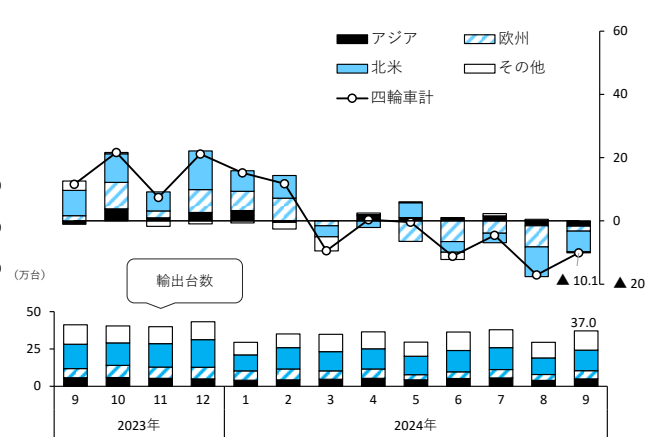
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

(注) 車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

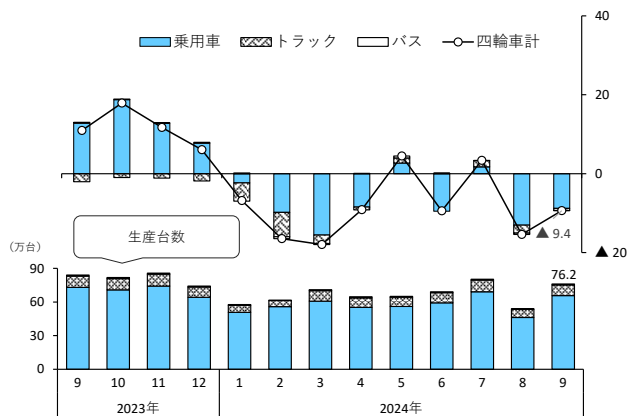
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



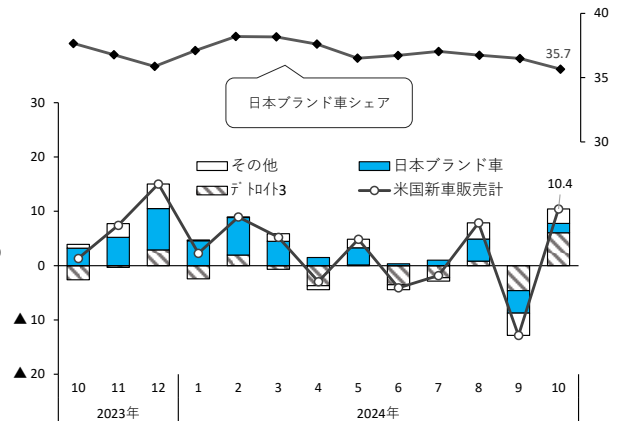
〔図12〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	輸 出								生 産				米国新車 販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+ トラック	乗用車	トラック	
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,101	8,011	6,815	1,196	14,482
2023年度	4,462	582	467	807	578	1,745	1,501	474	8,678	8,580	7,545	1,035	14,120
2023年 7～9月	1,163	152	122	195	136	466	404	122	2,258	2,231	1,955	276	3,988
10～12月	1,236	163	122	233	169	493	426	125	2,417	2,390	2,094	295	3,907
2024年 1～3月	994	132	108	192	139	378	319	105	1,905	1,885	1,675	210	3,780
4～6月	1,024	150	123	143	97	400	338	117	1,989	1,962	1,705	256	4,089
7～9月	1,043	146	137	150	108	394	339	116	2,107	2,081	1,811	271	3,895
2024年 7月	379	56	46	56	39	147	127	37	804	794	692	103	1,285
8月	294	39	40	40	28	111	96	34	541	535	462	72	1,434
9月	370	50	51	55	41	137	117	44	762	752	657	96	1,177
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.4	7.2	7.5	5.8	▲3.5
2023年度	15.5	0.9	0.6	36.3	43.2	21.3	17.0	15.9	7.1	7.1	10.7	▲13.5	▲2.5
2023年 7～9月	14.1	▲13.6	13.9	27.9	31.9	22.9	18.6	14.6	10.6	10.4	14.5	▲12.2	16.9
10～12月	16.5	19.0	▲6.8	36.0	42.8	24.2	18.0	12.7	11.9	11.9	15.6	▲8.9	8.1
2024年 1～3月	4.2	5.9	▲17.4	20.3	27.2	7.2	5.0	5.5	▲14.4	▲14.3	▲11.7	▲30.6	5.5
4～6月	▲4.2	9.9	6.7	▲23.8	▲27.5	▲1.8	▲3.9	▲4.6	▲5.2	▲5.4	▲6.4	1.3	▲0.7
7～9月	▲10.3	▲4.0	12.6	▲23.2	▲20.3	▲15.4	▲16.1	▲5.5	▲6.7	▲6.7	▲7.4	▲1.8	▲2.3
2024年 7月	▲4.6	12.7	10.2	▲21.6	▲20.8	▲7.5	▲11.0	▲10.6	3.3	3.3	1.9	13.7	▲1.8
8月	▲17.1	▲12.4	12.2	▲37.2	▲36.9	▲23.1	▲22.2	1.2	▲15.4	▲15.3	▲15.3	▲15.2	7.9
9月	▲10.1	▲12.0	15.1	▲10.4	▲1.9	▲16.3	▲15.8	▲5.8	▲9.4	▲9.4	▲10.1	▲4.5	▲12.9
4月からの累計	2,067	296	260	293	206	795	677	232	4,096	4,043	3,516	527	7,984
前年同期	2,232	288	237	382	270	874	756	245	4,356	4,305	3,776	529	8,108
増 減 量	▲166	7	23	▲90	▲65	▲79	▲79	▲12	▲261	▲262	▲260	▲2	▲123
前年同期比	▲7.4	2.6	9.7	▲23.5	▲23.9	▲9.1	▲10.4	▲5.1	▲6.0	▲6.1	▲6.9	▲0.3	▲1.5

(出所) 日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

<産業機械>

○9月の受注は前年同月比6.4%増と3ヵ月ぶりの増加

- ・ 民需(0.9%増・4ヵ月ぶり)、官公需(28.0%増・3ヵ月ぶり)、外需(6.5%増・2ヵ月ぶり)がいずれも増加した。外需では、原動機(19.4%減・3ヵ月ぶり)、建設機械(10.1%減・4ヵ月連続)が減少した一方、運搬機械(87.6%増・3ヵ月連続)、化学機械(約7倍・3ヵ月ぶり)が増加した。

○9月の生産用機械工業の生産は前年同月比7.6%減と2ヵ月連続の低下。また、汎用・業務用機械工業の生産は同7.0%減と9ヵ月連続の低下。

- ・ 生産用機械工業の生産を機種別にみると、化学機械(19.7%増・4ヵ月連続)が上昇したものの、農業用機械(34.5%減・8ヵ月連続)、建設・鉱山機械(25.3%減・8ヵ月連続)、金属加工・工作機械(16.5%減・14ヵ月連続)が低下したことから、全体では前年同月比7.6%減と2ヵ月連続の低下となった。
- ・ 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、運搬装置(5.6%増・6ヵ月ぶり)、冷凍機・温湿調整装置(3.5%増・3ヵ月連続)が上昇したものの、ボイラ・原動機(25.8%減・4ヵ月連続)が低下し、全体では前年同月比7.0%減と9ヵ月連続の低下となった。

<電気機械>

○9月の生産は、前年同月比5.9%増と3ヵ月連続の上昇

- ・ 重電機は、前年同月比5.1%減と2ヵ月連続の低下となった。品目別には、開閉制御装置(5.0%増、2ヵ月ぶり)が上昇したものの、回転電機(5.8%減、2ヵ月連続)、静止電機(23.1%減・7ヵ月連続)が低下した。
- ・ 家庭用電気機器は、民生用電機(18.2%増・3ヵ月連続)、民生用電子(1.2%増・2ヵ月ぶり)がともに上昇したことから、全体では前年同月比9.7%増と3ヵ月連続の上昇となった。

<造船>9月の手持工事量は前月末比1.5%減の3,000万G/Tと2ヵ月連続の減少

○9月の起工量は前年同月比39.8%増の98.0万G/Tと2ヵ月連続の増加となった。

○9月の輸出船契約量は前年同月比61.3%減の33.8万G/Tと8ヵ月ぶりの減少となった。

○9月末の手持工事量は前月末比1.5%減の3,000万G/Tと2ヵ月連続の減少となった。

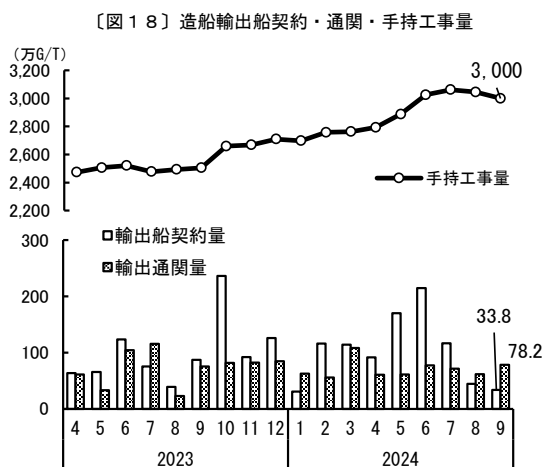
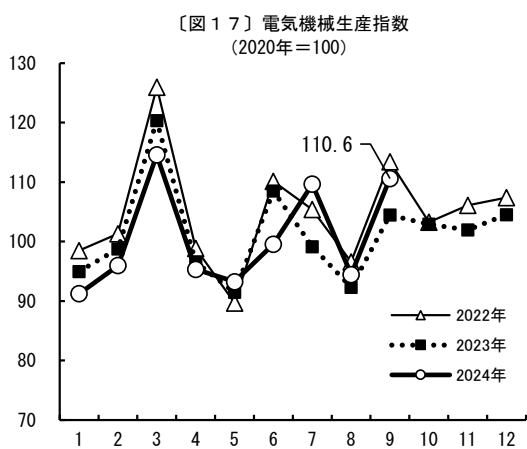
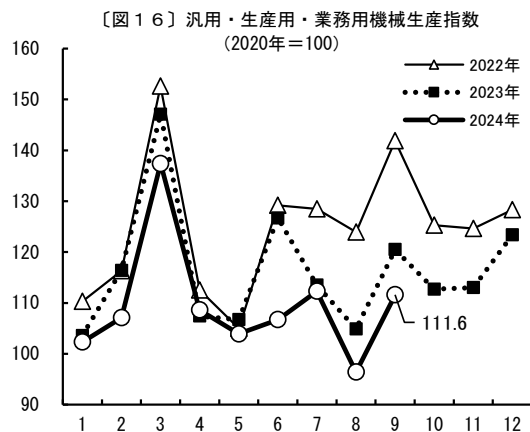
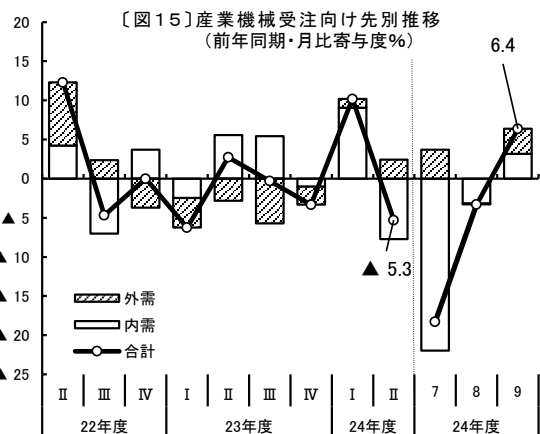
〔表4〕 産 業 機 械 活 動 水 準

(単位:億円、IIP<20年=100>、%)

	受 注 額				IIP								
	合 計	民 需	官公需	外 需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	132.7	108.4	126.6	103.3	142.8	114.5	119.9	101.8	111.9
2023年度	139,087	58,829	9,175	65,946	119.0	92.2	131.1	91.3	131.8	110.0	108.4	108.3	109.4
2023年 7-9月	36,547	16,044	2,554	16,663	116.7	95.9	132.7	84.4	136.4	109.0	109.7	98.2	105.7
10-12月	33,778	14,213	1,874	16,307	117.7	80.7	135.3	96.0	133.5	114.9	124.7	118.0	116.1
2024年 1-3月	36,118	15,459	2,776	16,638	122.7	88.2	123.5	97.8	119.2	108.1	102.4	122.6	108.0
4-6月	35,973	15,600	2,348	16,714	113.2	78.7	117.8	85.1	106.3	99.2	84.3	81.2	113.7
7-9月	34,615	13,112	2,532	17,554	111.1	63.5	102.5	103.1	112.2	102.2	93.9	89.1	110.0
2024年 7月	10,782	4,040	389	5,858	117.5	74.0	116.5	91.3	110.6	106.8	97.7	86.3	114.7
8月	10,116	4,047	639	4,997	101.5	53.5	87.6	100.4	105.0	91.0	85.1	73.8	96.8
9月	13,718	5,026	1,504	6,699	114.3	62.9	103.4	117.7	121.1	108.9	98.8	107.3	118.5
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	6.4	▲10.8	1.4	16.3	15.6	1.4	7.2	▲2.1	▲0.7
2023年度	▲1.8	3.1	9.5	▲7.2	▲10.3	▲15.0	3.5	▲11.6	▲7.7	▲3.9	▲9.6	6.4	▲2.2
2023年 7-9月	2.7	12.3	12.2	▲5.7	▲18.8	▲20.7	6.5	▲34.2	▲5.6	▲8.0	▲20.8	▲10.1	▲8.8
10-12月	▲0.3	13.2	8.1	▲10.6	▲12.7	▲26.8	▲5.3	▲9.4	▲7.2	▲1.6	10.9	8.8	2.2
2024年 1-3月	▲3.3	▲4.4	10.6	▲4.9	▲5.4	▲8.4	▲5.0	1.6	▲21.0	▲5.6	▲11.5	11.0	1.6
4-6月	10.2	19.0	19.1	2.3	▲4.7	▲24.2	▲11.4	▲1.9	▲23.0	▲8.2	▲12.9	▲14.0	5.3
7-9月	▲5.3	▲18.3	▲0.9	5.3	▲4.8	▲33.8	▲22.7	22.1	▲17.7	▲6.2	▲14.4	▲9.2	4.1
2024年 7月	▲18.3	▲39.9	▲42.9	9.1	0.9	▲27.5	▲14.0	24.0	▲21.1	▲3.4	▲1.3	▲20.3	5.0
8月	▲3.3	▲6.8	▲8.6	▲0.2	▲7.8	▲40.4	▲29.4	23.3	▲15.5	▲8.4	▲12.2	▲12.9	3.8
9月	6.4	0.9	28.0	6.5	▲7.6	▲34.5	▲25.3	19.7	▲16.5	▲7.0	▲25.8	5.6	3.5
4月からの累計	70,588	28,712	4,879	34,268	112.2	71.1	110.2	94.1	109.3	100.7	89.1	85.2	111.9
前年同期	69,191	29,157	4,526	33,001	117.8	99.9	132.8	85.6	137.2	108.6	103.3	96.3	106.8
増 減 量	1,397	▲446	354	1,267	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	2.0	▲1.5	7.8	3.8	▲4.8	▲28.8	▲17.1	10.0	▲20.4	▲7.2	▲13.7	▲11.5	4.7

(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。



〔表5〕電 気 機 械 、 造 船 活 動 水 準

(単位: IIP < 20年 = 100 >・%、千G/T、%)

	電気機械	I I P					電 子 部 品	造 船				
		重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械		起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
2022年度	103.7	107.6	97.2	99.1	94.1	87.9	79.3	8,784	9,093	13,326	8,382	24,713
2023年度	100.3	102.3	96.3	90.4	106.4	75.0	80.1	8,544	9,533	11,699	8,877	27,629
2023年 7- 9月	98.6	100.3	87.6	76.2	106.7	67.7	86.0	2,172	2,280	2,017	2,139	25,051
10-12月	103.1	104.6	96.4	87.6	111.2	68.8	84.1	2,427	2,677	4,547	2,488	27,094
2024年 1- 3月	100.6	103.8	92.3	86.2	102.4	93.8	74.8	1,930	2,614	2,609	2,264	27,629
4- 6月	96.1	90.3	101.2	101.1	101.3	46.2	77.2	2,426	2,174	4,766	1,988	30,253
7- 9月	104.9	96.0	93.1	85.5	105.9	65.5	84.5	2,276	2,176	1,949	2,114	30,000
2024年 7月	109.7	97.5	109.8	106.3	115.8	90.0	87.6	745	744	1,166	715	30,624
8月	94.5	81.8	77.4	71.1	88.1	41.5	78.6	551	646	445	617	30,450
9月	110.6	108.7	92.0	79.1	113.7	65.0	87.3	980	787	338	782	30,000
2022年度	▲3.3	2.2	4.6	5.2	3.7	▲3.0	▲25.8	0.7	▲7.9	▲9.1	▲9.4	23.7
2023年度	▲3.3	▲4.9	▲0.9	▲8.8	13.1	▲14.7	1.1	▲2.7	4.8	▲12.2	5.9	11.8
2023年 7- 9月	▲6.2	▲6.0	▲11.3	▲25.9	16.5	▲18.4	▲1.5	17.1	1.0	2.8	▲15.4	▲0.6
10-12月	▲2.3	▲4.6	▲0.6	▲7.8	10.8	▲20.7	9.3	18.9	33.3	93.6	48.5	8.2
2024年 1- 3月	▲3.9	▲10.8	▲5.6	▲7.6	▲2.7	▲13.9	21.2	▲22.6	▲1.1	▲10.2	▲8.2	2.0
4- 6月	▲2.8	▲10.0	▲7.3	▲9.3	▲3.7	▲33.7	2.1	20.4	10.8	88.6	0.1	9.5
7- 9月	6.4	▲4.3	6.3	12.1	▲0.8	▲3.3	▲1.8	4.8	▲4.5	▲3.4	▲1.2	▲0.8
2024年 7月	10.6	1.7	7.8	12.5	1.1	50.7	6.3	▲24.1	▲31.2	54.9	▲38.3	1.2
8月	2.3	▲9.7	0.6	5.6	▲5.5	▲24.1	▲7.1	12.4	27.0	14.0	170.4	▲0.6
9月	5.9	▲5.1	9.7	18.2	1.2	▲26.8	▲4.2	39.8	14.0	▲61.3	3.9	▲1.5
4月からの累計	100.5	93.1	97.1	93.3	103.6	55.8	80.9	4,702	4,350	6,715	4,102	-
前年同期	98.7	100.3	98.4	93.8	106.0	68.7	80.8	4,187	4,241	4,544	4,125	-
増 減 量	-	-	-	-	-	-	-	516	109	2,171	▲23	-
前年同期比	1.8	▲7.2	▲1.2	▲0.6	▲2.2	▲18.7	0.0	12.3	2.6	47.8	▲0.6	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

3. 鋼材受注

－9月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、

前年同月比 10.9%減の 265 万トンと 4 ヶ月連続の減少－

○9月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比 10.9%減の 265 万トンと 4 ヶ月連続の減少

- ・ 建設用(11.3%減)は、土木(13.6%減・4 ヶ月連続)、建築(13.4%減・4 ヶ月連続)、その他建設(3.2%減・2 ヶ月連続)がいずれも減少したことから、全体では 4 ヶ月連続の減少となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。

- ・ 製造業用(11.6%減)は、造船(2.6%増、2 ヶ月ぶり)が増加したものの、ウェイトが高い自動車(18.8%減・9 ヶ月連続)のほか、産機(28.5%減・28 ヶ月連続)、電機(3.2%減・2 ヶ月連続)が減少したことから、全体では 9 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 建設向けのウェイトが高い販売業者向け(9.6%減)は 2 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 内需全体(10.9%減)では 4 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 輸出向け(3.2%増)は 2 ヶ月ぶりの増加となった。

○9月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比 6.2%減の 82 万トンと 8 ヶ月連続の減少

- ・ 製造業用(8.1%減)は、次工程(0.1%増・8 ヶ月ぶり)が増加したものの、産機(2.6%減・2 ヶ月ぶり)、自動車(16.8%減・6 ヶ月連続)が減少したことから、全体では 8 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 内需全体(6.2%減)は 8 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 輸出向け(12.2%減)は 3 ヶ月連続の減少となった。

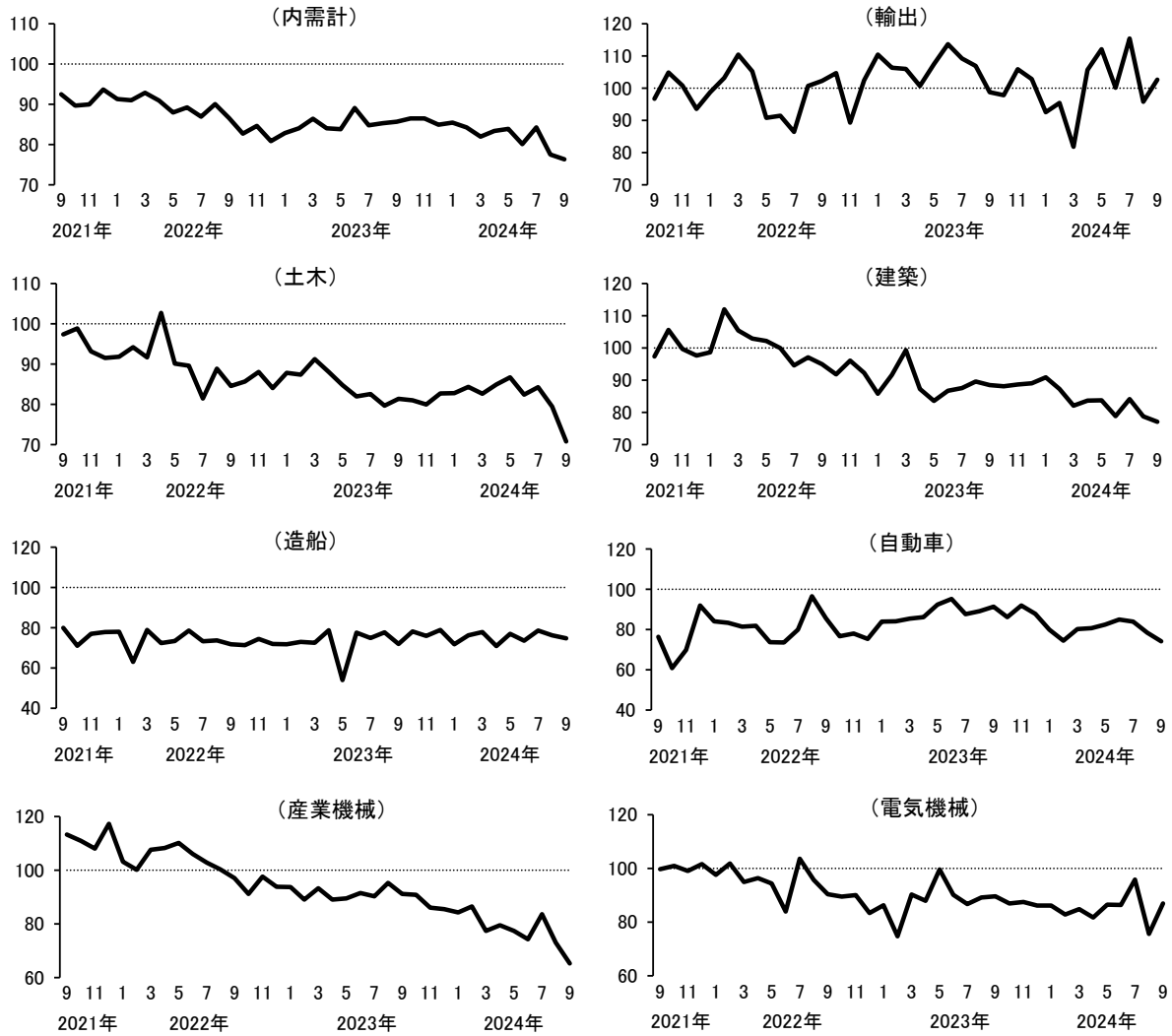
〔表 6〕鋼 材 受 注 総 括 表

(単位：千トン、%)

	(単位：千トン、%)											
	普 通				鋼 鋼 材					販売業者	内需計	輸出
	建設計	土 木	建 築	その他建設	製造業計	造 船	自動車	産 機	電 機			
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
2023年度	8,757	1,764	5,164	1,829	14,946	2,888	7,234	1,242	1,313	11,246	34,949	22,023
2023年 7～ 9月	2,146	432	1,273	441	3,906	711	1,976	322	323	2,645	8,697	5,578
10～12月	2,256	442	1,342	471	3,853	771	1,849	320	333	2,916	9,025	5,636
2024年 1～ 3月	2,159	439	1,263	457	3,550	736	1,650	279	315	2,870	8,579	4,935
4～ 6月	2,129	450	1,229	450	3,461	702	1,600	277	314	2,753	8,343	5,826
7～ 9月	1,996	413	1,149	435	3,603	726	1,743	258	314	2,492	8,091	5,554
2024年 7月	714	149	413	151	1,241	270	575	95	114	897	2,852	2,201
8月	631	127	365	139	1,197	233	603	85	96	761	2,589	1,659
9月	651	136	370	145	1,165	223	565	78	105	834	2,650	1,694
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0
2023年度	▲7.5	▲6.5	▲8.8	▲4.4	1.4	1.9	6.6	▲10.6	▲1.9	1.3	▲1.0	1.1
2023年 7～ 9月	▲7.8	▲4.7	▲7.6	▲11.2	▲1.1	2.3	2.6	▲7.5	▲8.1	▲1.5	▲3.0	9.1
10～12月	▲4.0	▲5.5	▲5.0	0.5	7.2	7.6	14.7	▲7.0	▲1.0	5.8	3.7	3.1
2024年 1～ 3月	▲4.3	▲6.3	▲6.6	4.7	▲2.8	4.1	▲7.4	▲10.6	0.9	5.0	▲0.7	▲16.7
4～ 6月	▲3.1	▲0.1	▲4.5	▲2.1	▲4.8	4.8	▲9.0	▲14.0	▲8.2	▲2.2	▲3.5	▲0.8
7～ 9月	▲7.0	▲4.5	▲9.8	▲1.5	▲7.8	2.2	▲11.8	▲19.8	▲2.8	▲5.8	▲7.0	▲0.4
2024年 7月	▲1.8	2.1	▲4.0	0.6	▲0.6	5.4	▲3.5	▲7.4	10.8	0.3	▲0.6	5.6
8月	▲7.8	▲0.7	▲12.0	▲2.0	▲10.6	▲1.8	▲12.0	▲22.8	▲14.8	▲8.1	▲9.2	▲10.5
9月	▲11.3	▲13.6	▲13.4	▲3.2	▲11.6	2.6	▲18.8	▲28.5	▲3.2	▲9.6	▲10.9	3.2
4月からの累計	4,125	863	2,377	885	7,064	1,428	3,343	535	628	5,245	16,434	11,380
前年同期	4,343	883	2,559	901	7,543	1,381	3,735	644	665	5,460	17,345	11,453
増 減 量	▲218	▲20	▲182	▲16	▲479	47	▲392	▲109	▲37	▲214	▲911	▲74
前年同期比	▲5.0	▲2.2	▲7.1	▲1.8	▲6.4	3.4	▲10.5	▲16.9	▲5.5	▲3.9	▲5.3	▲0.6

(出所) 日本鉄鋼連盟

〔図 19〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2019 年＝100）



〔表 6〕 鋼 材 受 注 総 括 表 （続）

	特 殊 鋼 鋼 材					(単位：千トン、%)		
	製造業計	鋼 材			販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計
		産 機	自動車	次工程				
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483
2023年度	9,163	1,245	4,274	3,234	795	10,247	3,997	45,197
2023年 7～9月	2,400	320	1,154	826	185	2,656	1,059	11,352
10～12月	2,334	302	1,114	819	197	2,609	986	11,634
2024年 1～3月	2,149	294	979	771	207	2,430	947	11,009
4～6月	2,180	302	984	783	211	2,465	966	10,808
7～9月	2,206	313	1,000	778	203	2,484	966	10,574
2024年 7月	763	106	343	274	73	865	338	3,717
8月	707	102	324	245	62	794	291	3,383
9月	736	105	333	259	68	824	337	3,474
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2
2023年度	2.0	▲13.2	11.9	▲1.1	▲11.3	0.7	▲8.1	▲0.6
2023年 7～9月	4.9	▲10.5	15.1	1.1	▲14.3	3.0	▲0.0	▲1.6
10～12月	6.6	▲12.8	19.7	1.8	▲8.1	5.3	▲8.7	4.1
2024年 1～3月	▲3.3	▲19.2	1.7	▲2.3	▲0.6	▲2.8	▲9.3	▲1.2
4～6月	▲4.3	▲8.3	▲4.2	▲4.3	2.4	▲3.4	▲3.9	▲3.5
7～9月	▲8.1	▲2.0	▲13.3	▲5.9	10.1	▲6.5	▲8.8	▲6.9
2024年 7月	▲5.2	▲5.2	▲8.0	▲4.6	13.0	▲3.2	▲0.8	▲1.2
8月	▲11.1	2.1	▲14.9	▲12.7	▲1.6	▲10.0	▲12.9	▲9.4
9月	▲8.1	▲2.6	▲16.8	0.1	19.9	▲6.2	▲12.2	▲9.9
4月からの累計	4,386	615	1,984	1,560	414	4,948	1,932	21,382
前年同期比	4,679	649	2,181	1,644	390	5,208	2,064	22,553
増 減 量	▲293	▲34	▲196	▲84	24	▲260	▲132	▲1,171
前年同期比	▲6.3	▲5.2	▲9.0	▲5.1	6.1	▲5.0	▲6.4	▲5.2

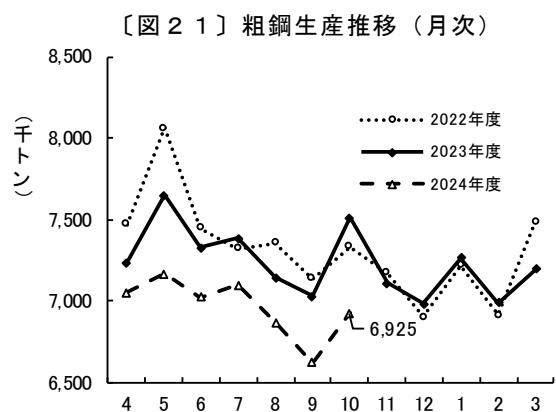
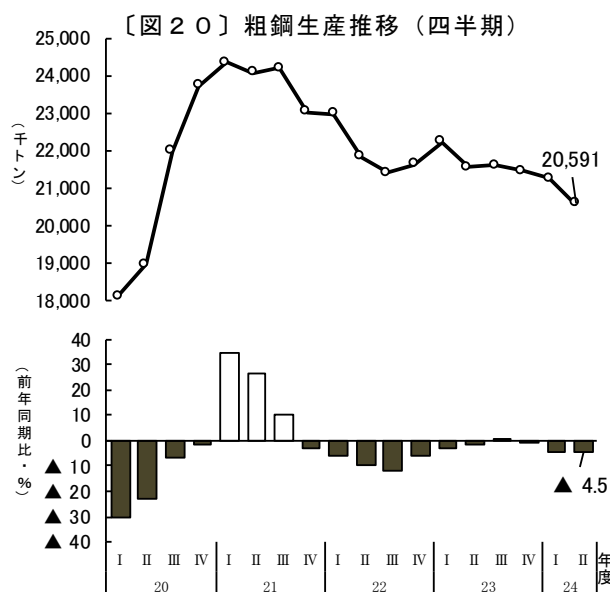
4. 鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

ー10月の粗鋼生産(速報)は

前年同月比7.8%減の693万トンと8ヵ月連続の減少ー

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 10月の粗鋼生産（速報）は、前年同月比7.8%減の693万トンと8ヵ月連続の減少となった。
- ・ 10月の普通鋼鋼材生産（速報）は、前年同月比7.8%減の463万トンと8ヵ月連続の減少となった。
- ・ 9月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比9.4%減の291万トンと5ヵ月連続の減少となった。輸出向け出荷は同0.3%増の196万トンと2ヵ月ぶりの増加となった。
- ・ 9月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比2.5万トン増の531万トンと2ヵ月連続の増加となった。なお、在庫率は前月末比39.7ポイント低下の182.7%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2024年4月～6月	2,172	2,176	2,125
2024年7月～9月	2,151	2,163	2,059
2024年10月～12月	2,130	2,136	

〔表7〕鉄鋼需給総括表

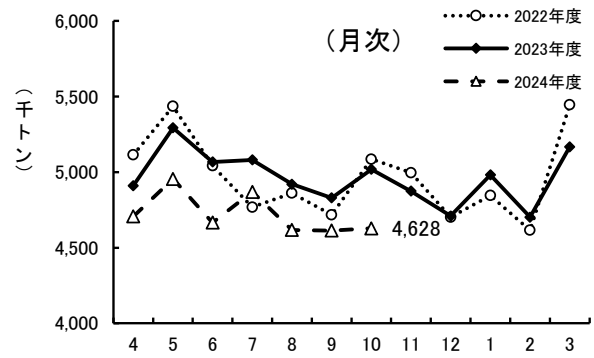
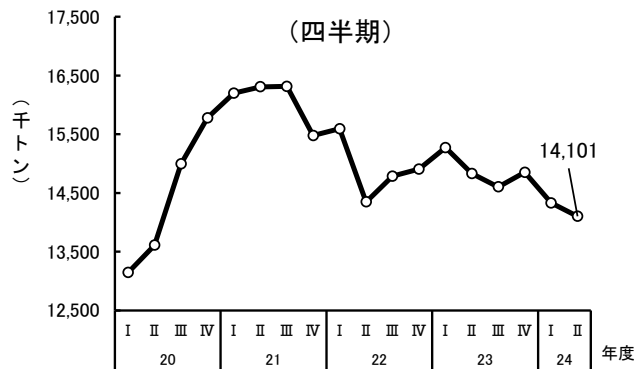
(単位:千トン、%)

	合計	粗鋼生産		鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
		転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2022年度	87,839	64,326	23,513	59,631	15,334	60,067	38,054	22,013	6,401	5,387	152.9
2023年度	86,828	63,849	22,979	59,559	14,893	59,426	36,717	22,710	6,533	5,445	170.0
2023年 7～9月	21,557	16,263	5,295	14,831	3,853	15,061	9,141	5,921	6,139	5,176	169.9
10～12月	21,605	15,694	5,911	14,604	3,733	14,670	9,334	5,336	6,073	5,078	163.2
2024年 1～3月	21,452	15,695	5,757	14,852	3,623	14,392	8,949	5,443	6,533	5,445	182.5
4～6月	21,246	15,527	5,719	14,329	3,468	14,350	9,026	5,324	6,513	5,298	176.1
7～9月	20,591	15,326	5,265	14,101	3,585	14,174	8,386	5,788	6,439	5,314	190.1
2024年 8月	6,871	5,307	1,564	4,618	1,104	4,177	2,377	1,800	6,691	5,288	222.4
9月	6,623	4,794	1,829	4,613	1,233	4,865	2,908	1,957	6,439	5,314	182.7
P 10月	6,925	5,101	1,824	4,628	—	—	—	—	—	—	—
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.9	▲5.1	▲6.0	▲3.5	▲437	▲600	—
2023年度	▲1.2	▲0.7	▲2.3	▲0.1	▲2.9	▲1.1	▲3.5	3.2	133	58	—
2023年 7～9月	▲1.2	1.2	▲8.0	3.4	▲0.5	4.2	▲3.4	18.7	▲230	▲151	—
10～12月	0.9	0.9	0.9	▲1.2	▲3.2	▲2.5	▲2.9	▲1.7	▲66	▲97	—
2024年 1～3月	▲0.8	▲2.0	2.6	▲0.4	▲1.7	▲4.6	▲4.9	▲4.2	460	366	—
4～6月	▲4.4	▲4.1	▲4.9	▲6.2	▲5.8	▲6.2	▲2.9	▲11.4	▲20	▲146	—
7～9月	▲4.5	▲5.8	▲0.6	▲4.9	▲7.0	▲5.9	▲8.3	▲2.2	▲74	16	—
2024年 8月	▲3.9	▲3.6	▲4.6	▲6.1	▲9.3	▲11.5	▲12.9	▲9.4	440	284	—
9月	▲5.8	▲6.8	▲3.0	▲4.5	▲8.9	▲5.8	▲9.4	0.3	▲252	25	—
10月	▲7.8	▲6.8	▲10.5	▲7.8	—	—	—	—	—	—	—
4月からの累計	48,762	35,954	12,808	33,058	7,053	28,524	17,412	11,112	—	—	—
前年同期	51,282	37,934	13,348	35,122	7,536	30,365	18,434	11,931	—	—	—
増減量	▲2,520	▲1,980	▲540	▲2,064	▲483	▲1,841	▲1,022	▲818	—	—	—
前年同期比	▲4.9	▲5.2	▲4.0	▲5.9	▲6.4	▲6.1	▲5.5	▲6.9	—	—	—

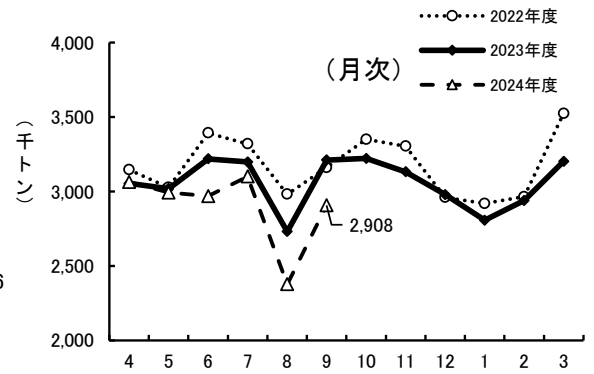
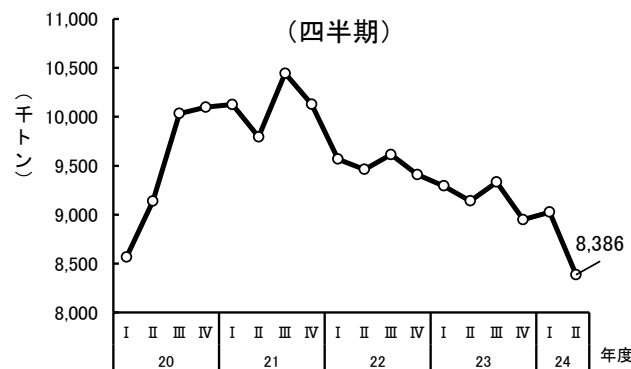
(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22〕 普通鋼鋼材需給

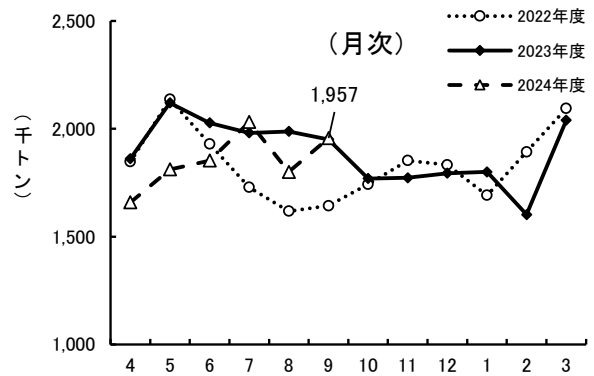
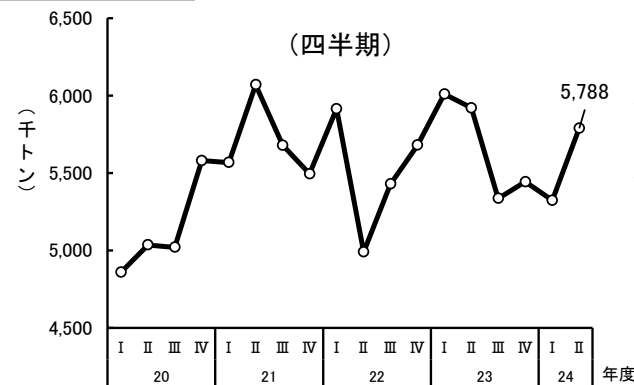
生産



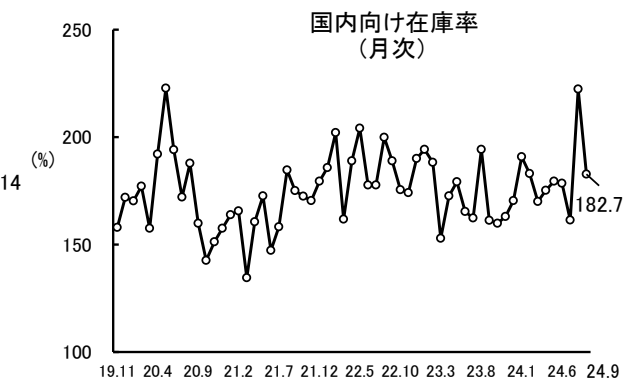
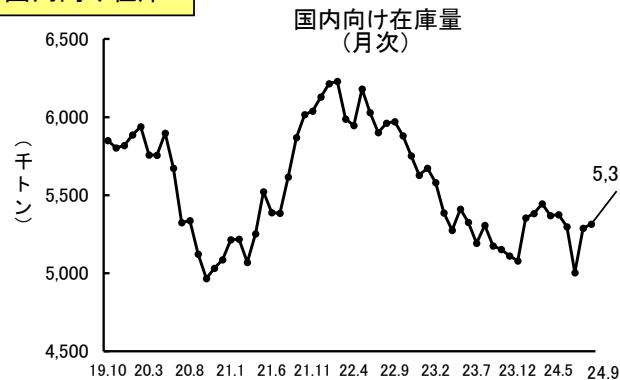
国内向け出荷



輸出向け出荷



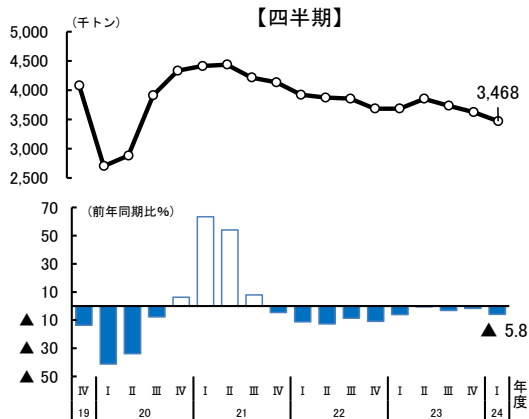
国内向け在庫



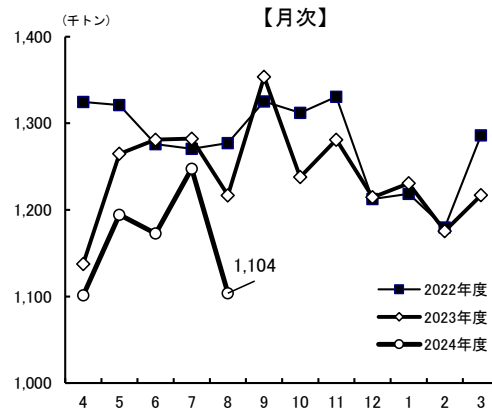
○生産、出荷、在庫動向

- ・ 8月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比9.3%減の110万トンと7ヵ月連続の減少となった。
- ・ 鋼種別には、工具鋼(同19.2%増)、ばね鋼(同20.5%増)が増加したものの、高抗張力鋼(同19.3%減)、機械構造用炭素鋼(同7.8%減)、構造用合金鋼(同7.4%減)、ステンレス鋼(同1.7%減)が減少した。
- ・ 8月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け(同12.6%減、70万トン・8ヵ月連続)、輸出向け(同7.7%減、30万トン・2ヵ月ぶり)がともに減少し、合計(同11.2%減、99万トン)では2ヵ月ぶりの減少となった。
- ・ 8月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比8.7万トン増の177万トンとなった。なお、在庫率は45.4ポイント上昇し178.7%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

(単位：千トン、%)												
	生 産	出 荷			在 庫		鋼 種 別 生 産					
		計	国 内	輸 出		在庫率	工具鋼	S C	A L	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,042	3,956
2023年度	14,893	14,684	10,606	4,078	1,732	135.4	118	3,783	3,144	304	1,823	4,187
2023年 4～ 6月	3,684	3,591	2,627	964	1,709	142.8	35	944	812	77	461	974
7～ 9月	3,853	3,736	2,697	1,039	1,729	138.8	25	974	821	76	465	1,098
10～12月	3,733	3,775	2,730	1,045	1,708	135.7	31	975	791	79	451	1,031
2024年 1～ 3月	3,623	3,581	2,551	1,030	1,732	145.1	28	889	720	72	447	1,084
4～ 6月	3,468	3,442	2,509	933	1,723	150.2	31	848	723	72	463	973
2024年 6月	1,173	1,172	851	322	1,723	147.0	12	277	243	24	150	345
7月	1,248	1,266	910	356	1,687	133.3	12	304	262	24	153	358
8月	1,104	993	697	295	1,774	178.7	9	276	229	25	154	294
2022年度	▲10.9	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲229	－	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2023年度	▲2.9	▲3.8	▲2.6	▲6.9	5	－	▲23.9	▲5.0	▲2.7	▲2.6	▲10.7	5.8
2023年 4～ 6月	▲6.1	▲7.7	▲2.8	▲18.8	▲19	－	▲23.1	▲5.5	0.0	▲3.0	▲11.4	▲4.6
7～ 9月	▲0.5	▲1.5	0.7	▲7.0	20	－	▲37.6	▲1.3	1.0	▲1.4	▲13.5	9.0
10～12月	▲3.2	▲2.0	▲2.1	▲1.7	▲21	－	▲21.5	▲4.6	▲5.0	▲2.8	▲13.4	9.2
2024年 1～ 3月	▲1.7	▲3.9	▲6.1	1.9	25	－	▲10.4	▲8.5	▲6.9	▲3.5	▲3.7	10.1
4～ 6月	▲5.8	▲4.2	▲4.5	▲3.2	▲9	－	▲11.5	▲10.1	▲11.0	▲6.5	0.4	▲0.1
2024年 6月	▲8.5	▲6.8	▲7.6	▲4.4	▲7	－	11.8	▲15.9	▲11.6	▲13.9	▲5.1	▲0.4
7月	▲2.7	0.6	▲1.9	7.5	▲36	－	23.2	▲9.5	▲5.3	▲12.4	▲5.6	5.9
8月	▲9.3	▲11.2	▲12.6	▲7.7	87	－	19.2	▲7.8	▲7.4	20.5	▲1.7	▲19.3
4月からの累計	5,820	5,701	4,116	1,585	－	－	51	1,428	1,215	121	771	1,625
前年同期	6,183	5,968	4,352	1,615	－	－	51	1,579	1,337	125	781	1,676
増 減 量	▲363	▲267	▲236	▲31	－	－	▲*	▲151	▲122	▲4	▲10	▲51
前年同期比	▲5.9	▲4.5	▲5.4	▲1.9	－	－	▲0.8	▲9.6	▲9.1	▲3.3	▲1.3	▲3.0

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟

(注) 1. 在庫は前月(期)末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

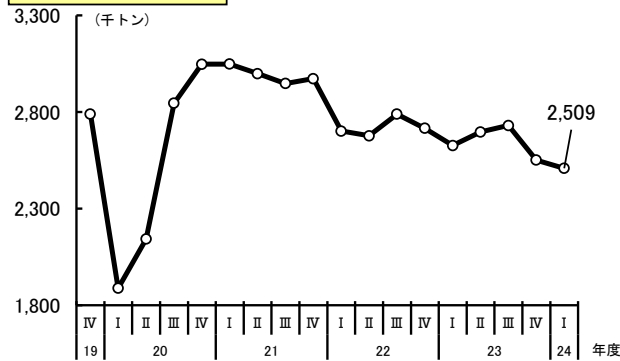
3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計(最終鋼材)において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

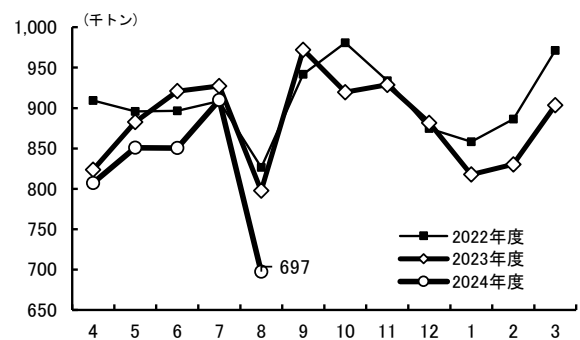
〔図 2 5〕 特殊鋼鋼材需給

国内向け出荷

【四半期】

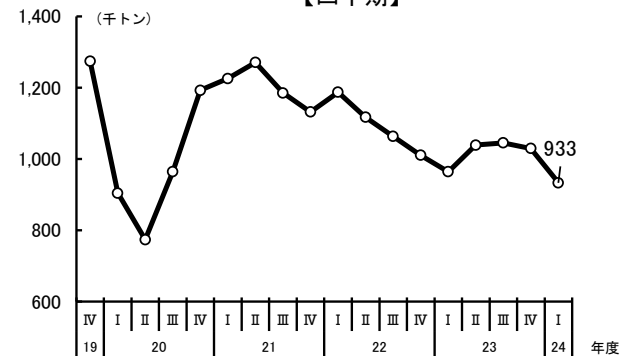


【月次】

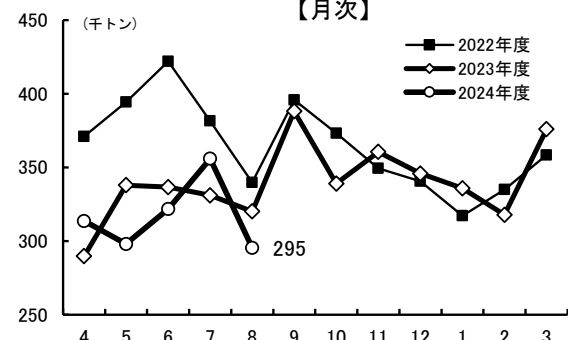


輸出向け出荷

【四半期】

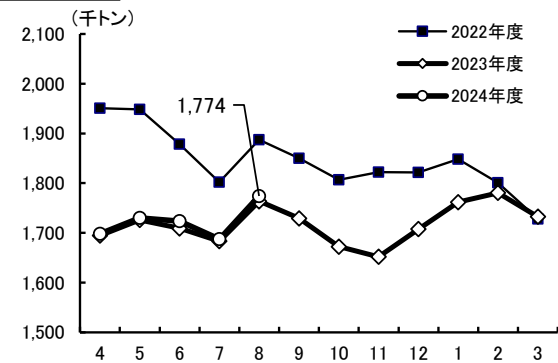


【月次】

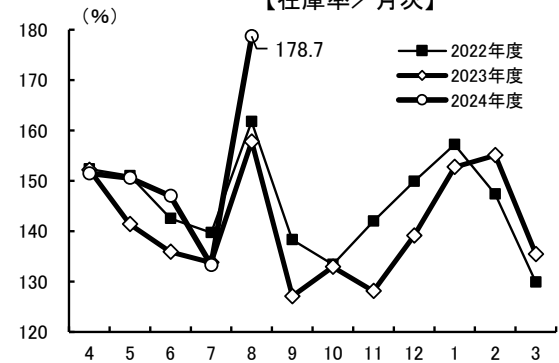


鋼材在庫

【在庫量／月次】

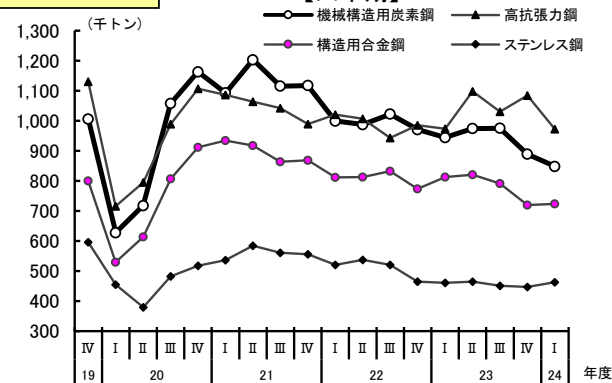


【在庫率／月次】

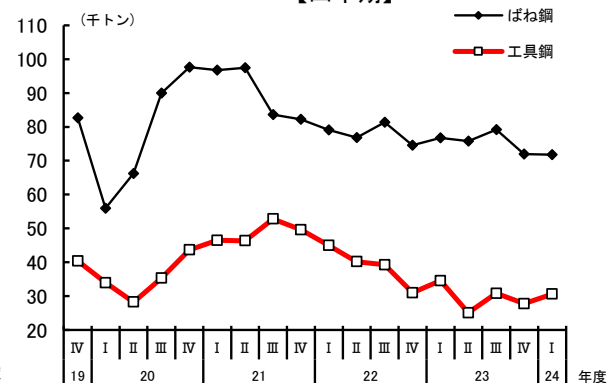


鋼種別生産

【四半期】



【四半期】

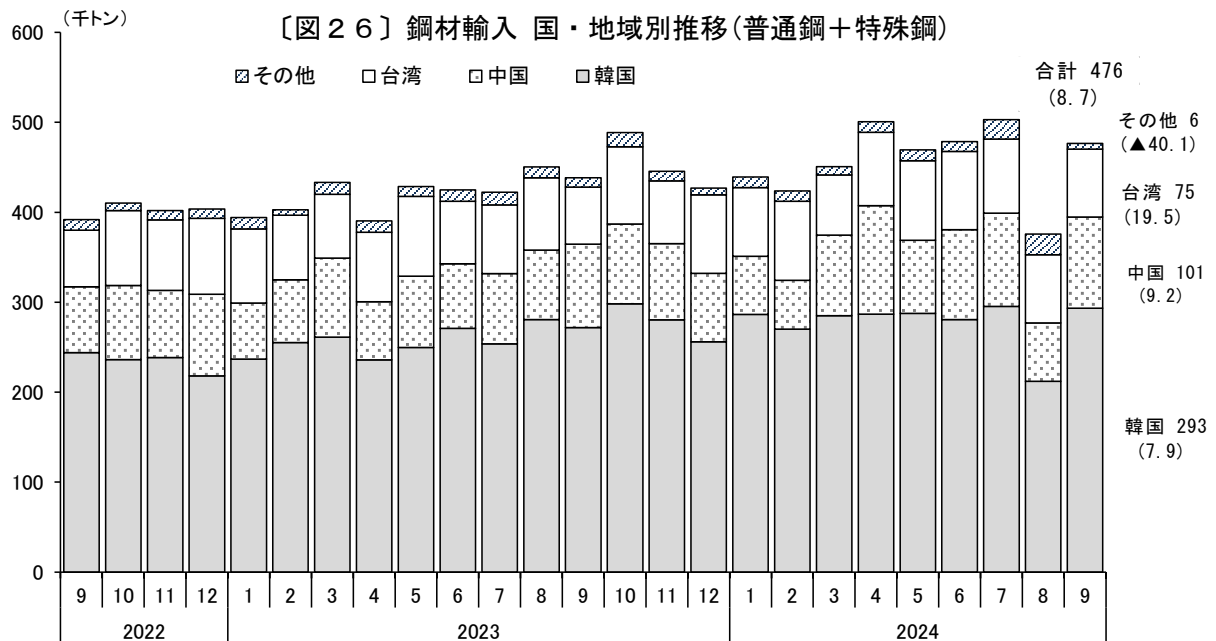


５．鋼材輸入、鋼材流通

－９月の鋼材輸入は、前年同月比 8.7%増の 48 万トンと 2 ヶ月ぶりの増加－

○ ９月の鋼材輸入の動向

- ・ ９月の鋼材輸入(普通鋼＋特殊鋼)は、前年同月比 8.7%増の 48 万トンと 2 ヶ月ぶりの増加となった。
国別では、韓国(7.9%増・2 ヶ月ぶり)、中国(9.2%増・2 ヶ月ぶり)、台湾(19.5%増・2 ヶ月ぶり)がいずれも増加した。
- ・ 鋼種別では、普通鋼(9.4%増)が 2 ヶ月ぶりの増加、特殊鋼(2.0%増)が 9 ヶ月連続の増加となった。
特殊鋼のうち、ステンレス鋼(7.8%増・10 ヶ月連続)が増加した。



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。() は前年同月比。

〔表 9〕 普通鋼 鋼 材 輸 入

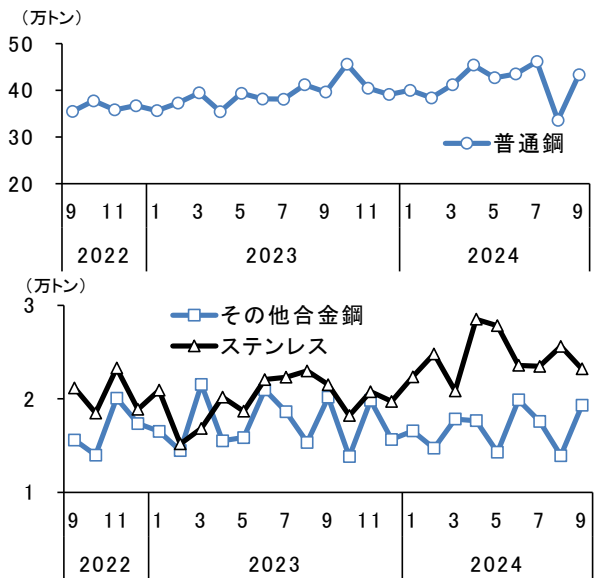
(単位:千トン、%)													
	鋼材輸入 合計 (普通鋼・特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国 別				
		合 計	線 材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜鉛 めっき鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他	
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113	
2023年度	5,230	4,770	248	435	1,459	917	1,240	472	3,016	863	786	105	
2023年 7～9月	1,311	1,190	74	105	360	221	307	123	742	204	217	28	
10～12月	1,361	1,253	58	107	384	235	350	120	785	227	215	26	
2024年 1～3月	1,314	1,197	55	115	356	245	312	114	784	214	174	25	
4～6月	1,449	1,317	72	132	405	260	318	131	797	236	257	26	
7～9月	1,355	1,232	67	124	368	222	324	128	748	217	226	41	
2024年 7月	503	462	25	46	141	76	125	49	277	77	90	18	
8月	376	336	21	37	90	64	88	36	197	69	51	20	
9月	476	434	20	41	136	82	111	43	274	71	86	3	
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4	
2023年度	9.0	10.6	▲18.3	11.9	4.4	12.7	25.1	12.3	12.9	3.3	13.5	▲7.1	
2023年 7～9月	7.7	9.3	▲28.4	17.6	▲1.3	11.7	29.4	27.7	10.3	9.6	18.5	▲41.1	
10～12月	11.9	13.5	7.1	13.4	6.0	11.0	31.9	2.7	19.3	▲2.5	9.9	51.2	
2024年 1～3月	6.8	6.4	▲31.6	2.1	6.9	14.6	11.3	8.5	9.8	3.9	▲4.2	6.0	
4～6月	16.5	16.5	18.9	22.7	12.8	20.0	17.3	12.5	13.1	8.0	42.5	▲1.1	
7～9月	3.4	3.5	▲9.9	17.6	2.3	0.2	5.6	4.0	0.8	6.6	4.5	48.7	
2024年 7月	19.2	21.2	▲11.3	52.3	22.0	8.2	24.7	33.7	19.5	9.1	33.1	61.3	
8月	▲16.6	▲18.4	▲6.5	11.6	▲31.2	▲20.5	▲13.2	▲17.5	▲24.9	▲6.1	▲24.5	107.2	
9月	8.7	9.4	▲11.6	▲2.4	21.2	15.8	5.5	0.6	10.3	19.2	4.8	▲51.6	
4月からの累計	2,804	2,549	139	256	773	481	642	258	1,545	453	483	68	
前年同期	2,555	2,321	135	213	719	438	578	239	1,447	422	397	54	
増 減 量	249	228	4	43	54	44	64	19	98	31	86	13	
前年同期比	9.7	9.8	3.1	20.2	7.5	10.0	11.1	8.1	6.8	7.3	21.7	24.2	

(出所) 財務省貿易統計

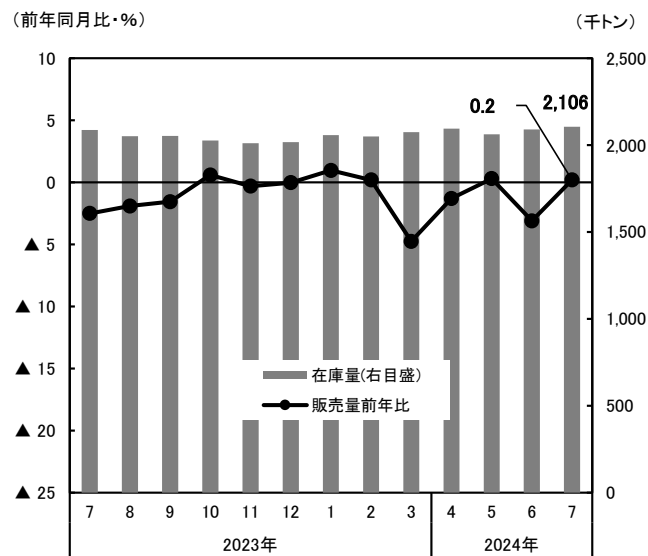
〇7月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比 0.2%増の 215 万トンと、2 ヶ月ぶりの増加となった。
- ・ 市中在庫(自社所有分)は、前月末比で 1.6 万トン減少の 211 万トンと 5 ヶ月ぶりの減少となった。

〔図 2 7〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図 2 8〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表 1 0〕 特殊鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	特殊鋼鋼材輸入									
	合 計	ステンレス	その他 合金鋼	特殊鋼鋼材輸入			国 別			
				線材	鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46
2023年度	459	254	205	55	13	137	224	66	136	34
2023年 7～9月	121	67	54	16	5	33	64	16	32	9
10～12月	108	59	49	12	3	35	50	16	35	7
2024年 1～3月	117	68	49	11	2	36	58	17	34	8
4～6月	132	80	52	14	5	33	58	21	45	8
7～9月	123	72	51	14	6	31	53	17	43	10
2024年 7月	41	23	18	7	1	10	19	5	14	3
8月	40	26	14	3	1	9	15	7	14	3
9月	43	23	19	5	3	11	19	5	16	3
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0
2023年度	▲4.9	▲8.7	0.4	▲3.8	▲22.1	5.2	22.7	▲12.3	▲24.0	▲27.1
2023年 7～9月	▲6.2	▲16.3	10.1	25.4	19.7	2.9	19.1	▲14.4	▲25.2	▲36.2
10～12月	▲3.6	▲3.2	▲4.1	▲11.0	▲41.5	3.6	43.2	17.9	▲33.1	▲37.1
2024年 1～3月	11.0	28.5	▲6.5	▲38.2	▲62.2	22.3	45.8	▲12.0	▲9.2	▲8.1
4～6月	16.3	31.2	▲1.0	▲14.7	44.6	0.6	12.2	25.3	25.5	▲11.6
7～9月	1.8	8.2	▲6.1	▲9.8	14.5	▲7.5	▲17.2	2.3	37.9	10.4
2024年 7月	0.3	5.3	▲5.6	▲3.6	31.2	▲9.7	▲15.4	▲6.3	28.6	30.9
8月	3.2	11.5	▲9.2	▲40.7	8.9	7.0	▲18.8	▲2.8	44.1	25.8
9月	2.0	7.8	▲4.3	21.3	12.0	▲15.2	▲17.6	23.9	41.6	▲17.2
4月からの累計	255	152	103	28	11	64	111	37	88	18
前年同期	234	128	106	32	9	66	116	33	67	18
増 減 量	21	24	▲4	▲4	2	▲2	▲5	5	21	▲*
前年同期比	8.8	19.2	▲3.6	▲12.2	27.1	▲3.4	▲4.1	13.9	31.3	▲0.9

(出所) 財務省貿易統計

〔表 1 1〕

鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
25,673	2,118
25,356	2,075
6,339	2,053
6,473	2,017
6,208	2,075
6,247	2,122
—	—
2,153	2,106
—	—
—	—
▲3.9	▲80
▲1.2	▲43
▲2.0	▲48
0.1	▲36
▲1.3	58
▲1.4	47
—	—
0.2	▲16
—	—
—	—
8,400	—
8,485	—
▲85	—
▲1.0	—

(出所) 日本鉄鋼連盟

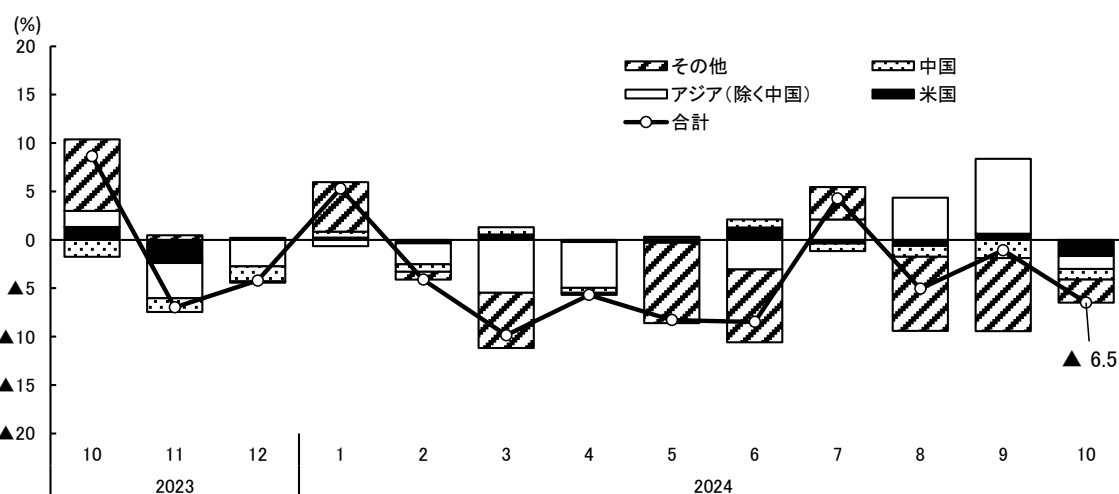
(注) 在庫は前月(期)末比

6. 鉄鋼輸出

—10月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比6.5%減の252万トンと3ヵ月連続の減少—

- 10月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比6.5%減の252万トンと3ヵ月連続の減少となった。
仕向け先別にみると、韓国向け（8.0%減・13ヵ月連続）、中国向け（11.8%減・4ヵ月連続）、ASEAN（0.3%減・4ヵ月ぶり）がいずれも減少した。
- 9月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比0.2%減の181万トンと2ヵ月連続の減少となった。品種別にみると、熱延鋼板類（1.0%増）、冷延鋼板類（23.4%増）、亜鉛めっき鋼板（3.4%増）が増加したものの、厚中板（10.1%減）が減少した。
- 10月の輸出平均単価（速報）は、全鉄鋼ベースで972ドルと3ヵ月ぶりの低下となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向け別輸出推移

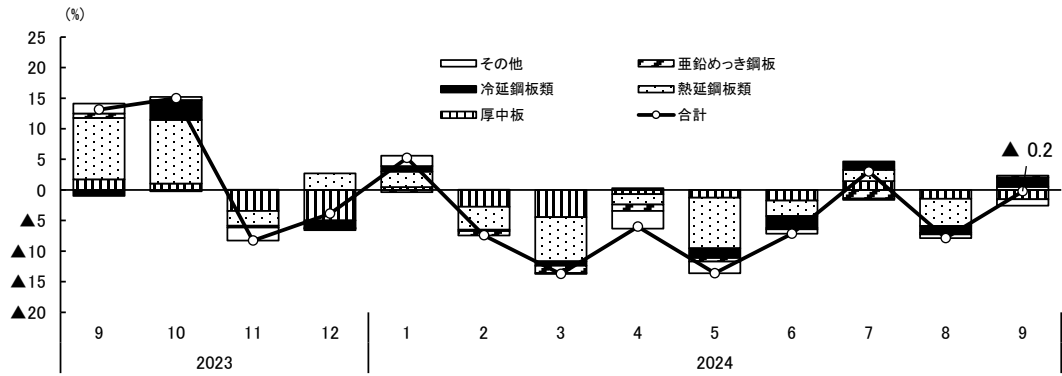


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

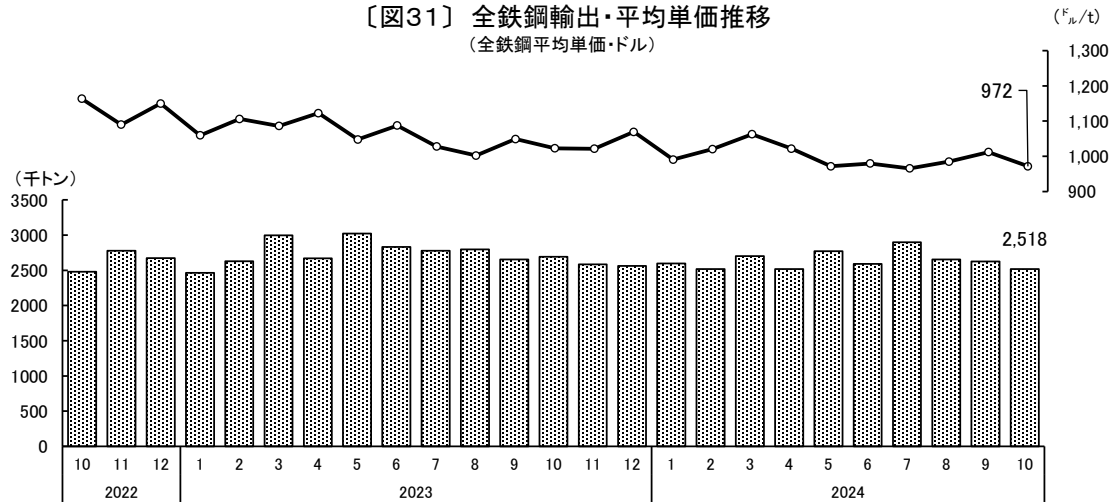
	全鉄鋼	輸 出 数 量 (千トン)			金 額 (FOB)		平 均 単 価			円／ドル 換 算 レ ー ト
		鉄鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ド ル	千円	鋼材	
							全鉄鋼	鋼材	鋼材	
2022暦年	32,303	73	3,113	28,345	38,918	50,698	1,204.8	1,200.2	156.4	130.27
2023暦年	32,690	101	3,115	28,810	34,601	48,401	1,058.5	1,057.6	148.0	139.88
2023年 7- 9月	8,232	14	757	7,299	8,447	12,132	1,026.1	1,025.2	147.2	143.63
10-12月	7,840	13	766	6,885	8,134	12,096	1,037.6	1,037.3	154.3	148.70
2024年 1- 3月	7,818	23	773	6,867	8,015	11,814	1,025.2	1,025.3	151.1	147.40
4- 6月	7,883	18	831	6,875	7,808	12,074	990.4	989.3	153.0	154.64
7- 9月	8,181	26	799	7,202	8,074	12,268	986.8	986.8	150.0	151.96
2024年 8月	2,656	17	248	2,343	2,616	3,961	985.0	987.0	149.5	151.43
9月	2,627	4	225	2,347	2,659	3,836	1,012.1	1,011.3	145.9	144.26
P 10月	2,518	-	-	-	2,447	3,573	971.7	-	-	146.00
2022暦年	▲6.1	84.0	▲14.6	▲4.9	3.5	22.8	10.2	10.4	31.0	18.7
2023暦年	1.2	37.0	0.1	1.6	▲11.1	▲4.5	▲12.1	▲11.9	▲5.4	7.4
2023年 7- 9月	11.0	▲1.9	8.1	11.7	▲7.0	▲2.5	▲16.2	▲16.2	▲12.1	4.8
10-12月	▲1.2	▲48.3	7.8	▲1.6	▲9.5	▲5.9	▲8.4	▲8.2	▲4.5	3.9
2024年 1- 3月	▲3.4	▲55.8	1.6	▲3.4	▲8.7	1.6	▲5.5	▲5.3	5.3	11.2
4- 6月	▲7.5	▲12.0	0.1	▲8.5	▲15.5	▲3.8	▲8.7	▲8.7	4.0	14.0
7- 9月	▲0.6	85.9	5.5	▲1.3	▲4.4	1.1	▲3.8	▲3.7	1.8	5.8
2024年 8月	▲5.1	196.5	17.7	▲7.4	▲6.7	▲0.6	▲1.7	▲1.5	4.9	6.5
9月	▲1.1	275.6	▲14.4	0.4	▲4.6	▲6.0	▲3.5	▲3.4	▲4.9	▲1.5
10月	▲6.5	-	-	-	▲11.2	▲12.9	▲5.0	-	-	▲1.9
4月からの累計	18,583	44	1,631	14,077	18,328	27,915	986.3	988.0	151.4	-
前年同期	19,452	35	1,588	14,816	20,446	28,779	1,051.1	1,219.0	171.6	-
増 減 量	▲869	10	43	▲740	▲2,118	▲864	▲64.8	▲231.0	▲20.1	-
前年同期比	▲4.5	27.6	2.7	▲5.0	▲10.4	▲3.0	▲6.2	▲18.9	▲11.7	-

（出所）財務省貿易統計 （注）平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移
(全鉄鋼平均単価・ドル)



〔表 13〕 国別品種別輸出推移

(単位: 千トン, %)

	全鉄鋼計									普通鋼鋼材計				
	アジア	韓 国	中 国	ASEAN10	台 湾	インド	EU	米 国	メキシコ	厚中板	熱 延 鋼板類	冷 延 鋼板類	垂鉛めっ き鋼板	
2022暦年	24,308	5,431	3,949	10,898	1,809	848	1,741	1,268	1,244	21,404	2,936	10,870	1,681	2,043
2023暦年	22,800	5,637	2,849	10,549	1,585	1,175	2,047	1,229	1,860	22,642	2,975	12,323	1,567	2,147
2023年 7- 9月	5,630	1,309	703	2,679	392	300	546	332	413	5,761	783	3,168	386	542
10-12月	5,617	1,256	745	2,557	372	384	399	298	406	5,339	636	2,885	387	508
2024年 1- 3月	5,563	1,354	688	2,377	416	531	326	325	508	5,277	649	2,811	385	508
4- 6月	5,577	1,101	744	2,464	493	515	442	306	396	5,392	698	3,027	339	507
7- 9月	5,913	1,099	600	2,868	457	588	445	321	498	5,655	753	3,123	417	515
2024年 8月	2,044	357	199	971	163	243	54	79	143	1,866	246	1,030	140	181
9月	1,924	337	180	968	148	221	117	147	174	1,814	245	955	145	169
P 10月	1,883	402	219	901	-	-	-	62	-	-	-	-	-	-
2022暦年	▲9.2	10.9	▲22.9	▲10.0	▲22.7	11.9	73.6	7.6	▲36.0	▲3.3	9.7	1.6	▲20.5	▲20.0
2023暦年	▲6.2	3.8	▲27.9	▲3.2	▲12.4	38.6	17.6	▲3.1	49.5	5.8	1.4	13.4	▲6.8	5.1
2023年 7- 9月	▲2.0	15.0	▲25.2	▲0.6	▲3.5	52.3	86.1	18.4	41.4	18.3	8.4	31.8	▲3.1	14.6
10-12月	▲4.4	▲10.4	▲14.2	▲3.3	▲3.5	8.0	▲24.1	▲8.6	36.8	0.4	▲17.8	6.4	8.9	▲1.9
2024年 1- 3月	▲3.8	▲14.9	2.6	▲11.9	4.0	119.5	▲23.5	4.0	26.0	▲5.9	▲17.2	▲5.9	▲0.8	▲8.0
4- 6月	▲3.4	▲25.7	1.7	▲5.8	17.2	106.9	▲34.6	7.2	▲37.9	▲9.1	▲9.6	▲7.8	▲16.4	▲6.8
7- 9月	5.0	▲16.0	▲14.6	7.1	16.7	95.8	▲18.6	▲3.6	20.7	▲1.8	▲3.8	▲1.4	7.8	▲5.0
2024年 8月	4.6	▲16.0	▲13.7	0.1	47.3	110.7	▲69.3	▲18.2	12.5	▲7.9	▲10.7	▲8.0	▲14.1	▲3.0
9月	8.8	▲19.6	▲21.8	19.3	6.1	177.3	▲51.2	12.9	46.0	▲0.2	▲10.1	1.0	23.4	3.4
10月	▲3.4	▲8.0	▲11.8	▲0.3	-	-	-	▲42.1	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	13,373	2,602	1,562	6,234	950	1,102	886	689	895	11,047	1,452	6,150	756	1,022
前年同期	13,349	3,226	1,682	6,198	813	549	1,222	725	1,051	11,694	1,555	6,451	792	1,086
増 減 量	24	▲625	▲120	36	138	554	▲336	▲36	▲157	▲647	▲103	▲301	▲36	▲64
前年同期比	0.2	▲19.4	▲7.1	0.6	16.9	100.8	▲27.5	▲5.0	▲14.9	▲5.5	▲6.7	▲4.7	▲4.6	▲5.9

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

海外市場 ―9月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比4.7%減―

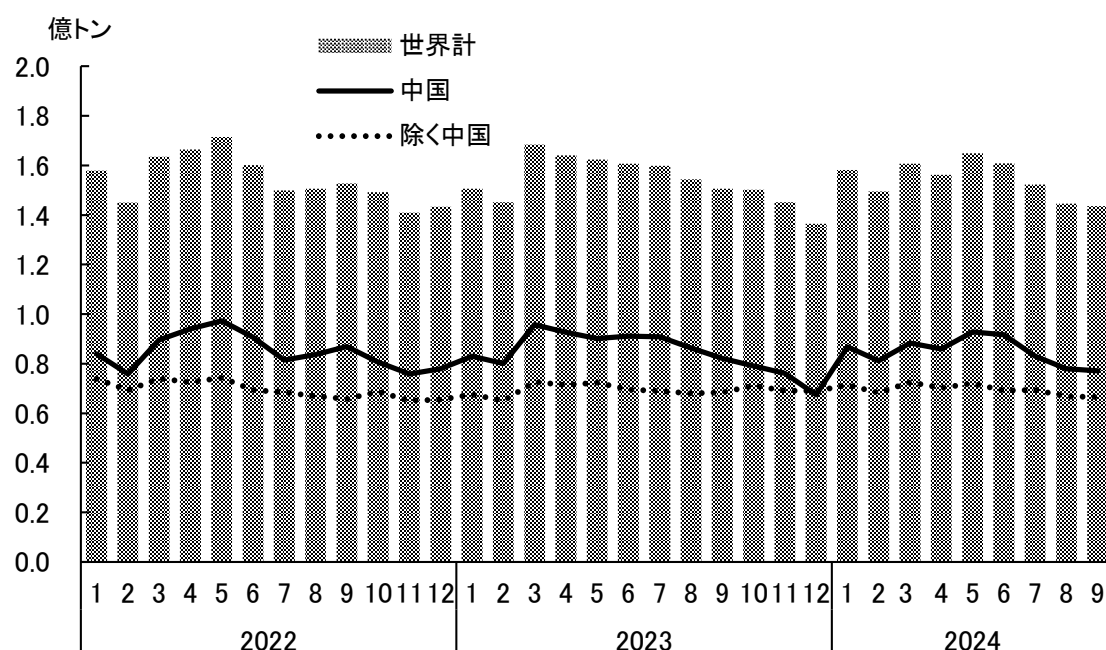
〔表1〕主要国の粗鋼生産

（単位：100万MT、％）

	2024年9月	前年同月比	2024年1～9月	前年同期比
日本	6.6	▲ 5.8	63.3	▲ 3.2
中国	77.1	▲ 6.1	768.5	▲ 3.6
韓国	5.5	1.3	48.1	▲ 4.6
台湾	1.6	2.4	14.4	0.2
インド	11.9	1.2	110.1	5.6
米国	6.7	1.2	60.3	▲ 1.6
ブラジル	2.8	9.9	25.2	4.4
EU27	10.5	0.3	97.8	1.5
ロシア	5.6	▲ 10.3	54.0	▲ 5.5
世界計	143.6	▲ 4.7	1,394.1	▲ 1.9

（出所）worldsteel等

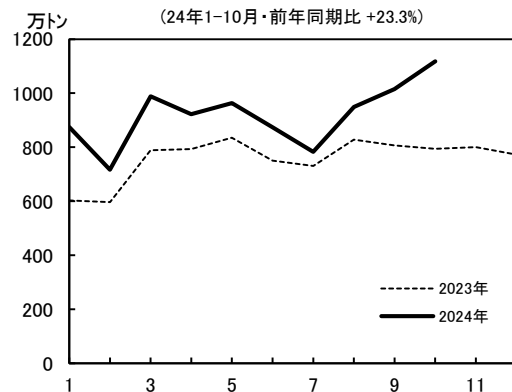
〔図1〕世界粗鋼生産



（出所）worldsteel

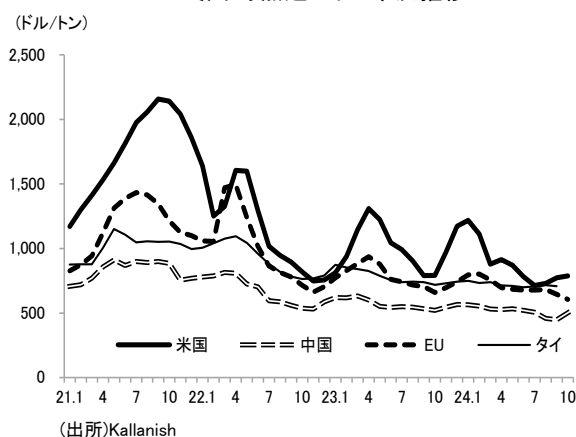
〔図2〕中国鋼材輸出

（24年1～10月・前年同期比 +23.3%）



（注）速報ベース、半製品を除く
（出所）中国海関総署

〔図3〕熱延コイル市況推移



（出所）Kallanish